



編集・発行 公益社団法人
日本プロテニス協会
広報委員会

〒108-0074 東京都港区高輪3-24-16 ISAビル 3F
TEL:03(5791)1965 FAX:03(5791)1966
E-mail:kyokai@jpta.or.jp
URL:http://www.jpta.or.jp

JPTA news

vol.195 2011年7月号

CONTENTS

- ◆ 理事長就任にあたってのご挨拶 1
- ◆ 理事長就任
ナブラチロワさんからのメッセージ 2
- ◆ 平成23年度 総会報告 2
- ◆ 新会長・新副会長就任にあたってのご挨拶 3
- ◆ 事業部長就任にあたってのご挨拶 3
- ◆ 推薦理事就任にあたってのご挨拶 4
- ◆ 指導技術
指導論 / 技術論 5~17
- ◆ 時の人 [因田 宏紀 氏] 18~21
- ◆ プロプレーヤーインタビュー 22
- ◆ NGT全国大会報告・地区大会日程 23
- ◆ 平成23年度 資格認定年間スケジュール 24
- ◆ プロテスト委員会 [新入会員挨拶 / UPテスト合格者] 24
- ◆ 能登国際女子オープンテニス 2011 25~27
- ◆ 会員人物紹介 [関東地区] 28
- ◆ 地区たより / 行事日程表 (8月~9月) 29
- ◆ 事務局たより / 新事務局長ご挨拶 30
- ◆ ミクシサイトについて /
求人募集広告掲載受付中 /
協会情報メール配信サービス登録受付中 31
- ◆ 公認推薦賛助企業 / 編集後記 32



資格認定講習委員会 つま恋(静岡) 2011.5.23~24

理事長就任のご挨拶



理事長
佐藤 直子

公益社団法人となった日本プロテニス協会の理事長に就任いたしました、佐藤直子です。

理事長就任にあたり、私が考える日本プロテニス協会を実現するために是非、お力添えをいただきたいと考え、会長には森トラストの森章社長に、副会長にはカルチャー・コンビニエンス・クラブの増田宗昭社長と渡辺功前理事長に就任していただくようお願いをし、更に若い元トップテニスプレーヤーにも理事として就任、そしてご協力をいただき新体制でスタートすることになりました。

私の目指すところは、現在の沈みがちな日本をテニスで元気にすることであり、そのためにも、今年4月より公益社団法人となった日本プロテニス協会です。「日本プロテニス協会は変えることができる、変わることができる」と考えています。「会員を劇的に増やす」ことは、日本プロテニス協会が世の中に大きな力を持つ要因となります。会員を増やすためにも、会員にとってより有益な協会を作り上げなくてはなりません。

プロテニス選手、プロコーチの地位向上とより良い生活ができる日本を構築していくことも協会の仕事です。日本プロテニス協会が仲介役となり、プロテニス選手・プロコーチの活躍の場を提供し、それが東

北をはじめ、日本全体が明るく元気になるように、皆で力を合わせて頑張っていきます。また、森章会長にも御提言いただいていることですが、東日本大震災被災地へ向けての応援は、長期に渡って力を入れていきます。

私は今年の3月まで、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科平田ゼミにおいてスポーツビジネスの勉強をしていました。野球やサッカーは、スポーツビジネスを語る時、観戦者を増やすことを考えます。しかしテニス関係者はなぜかテニス人口を増やすことを一番に考えます。成功しているスポーツビジネスを見習い、これからの日本プロテニス協会は、テニス観戦者を増やすことにも目を向け、工夫します。観客が増えればプロテニス選手の活躍の場も増えることに繋がります。

グランドスラム大会のダブルスにおける、アジアの中での初優勝は日本人でした。しかし、一番の華であるシングルスは、中国のリーナ選手のフレンチオープンでの優勝でした。我々は是非、日本人からウィンブルドンのシングルスチャンピオンを出す夢を追いつつ、プロコーチのコーチング技術や意識を高めて、テニス技術だけでなく人間的にも立派な選手を世界に輩出していきたいのです。しかも、日本人プロコーチによるMade in Japanの選手が私の夢です。

私はテニス界の先輩達が設立してくださったこの日本プロテニス協会が公益社団法人となり、新しい一歩を踏み出す今、理事長に就任いたしました、とはいえ、理事長の私一人が気負っても何もできません。執行部をはじめ会員の皆様そして事務局員も力を合わせて、活発な日本プロテニス協会を築き上げて行きます! 森章会長も増田宗昭副会長も、積極的な私に期待してくださったような気がしています。

今後ともより多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ナブラチロワさんから激励のメッセージが届きました!

ウィンブルドン女子シングルスで9回の史上最多優勝記録を持つ名選手

I want to congratulate my good friend, Nana Sato, for becoming the first woman president of JPTA. Nana has been a pioneer for women and women's right for a long time and also has been active with professional tennis for decades, both on and off the court.

I am sure she will be an outstanding president and will keep making our great sport of tennis even better.

Martina Navratilova

親愛なる佐藤直子さんが日本プロテニス協会初の女性理事長に就任されたことを、お祝い申し上げます。直子さんは日本人女子テニス選手のパイオニアであり、また日本人女子テニス選手の権利を長い間主張してきました。

プロテニスプレーヤーとしても数十年に渡ってテニスコート上、そしてコート外でも活躍されてきました。私は彼女が素晴らしい理事長となり、私達の大好きなテニスをより素敵にしてくれることを確信しています。

マルチナ・ナブラチロワ



往年の世界的な名選手 マルチナ・ナブラチロワの紹介

マルチナ・ナブラチロワ (Martina Navratilova, 1956年生まれ)さんは、チェコスロバキア(当時、現在チェコ共和国)プラハ出身の女子プロテニス選手です。現在はアメリカ国籍です。ウィンブルドン選手権の大会史上最多優勝記録(9勝)、WTAツアーの最多優勝記録(シングルス167勝、ダブルス177勝)など、数々の歴史的な記録を樹立した名選手です。4大大会シングルス通算「18勝」はライバルのクリス・エバート選手と並び女子歴代4位タイ記録です。



平成23年度 総会報告

平成23年6月20日(月)、協会会議室にて平成23年度総会が予定通り開催されました。会員総数1,543名のうち987名(内委任状出席者697名、書面表決者261名)が出席し、予定された議案を審議し、それぞれ可決承認されました。総会は定款の規定に基づき、渡辺功理事長が議長となり、挨拶と議事録署名者の選出後、議案の審議に入りました。



第1号議案の「平成22年度事業報告及び決算報告」については、総会資料に基づいて、議長より「一部事業を除き、大半の事業が堅実に実績を残した」との報告と、続けて鈴木監事より監査結果の説明・報告があり、質疑応答後、可決承認されました。

第2号議案の「平成23年度事業計画及び予算案」については、総会資料に基づいて、議長より予算編成は昨年同様の事業を中心に、黒字の収支を目指したことをはじめ、公益認定に伴い、今年度から収支予算書の形式が変更となり収益事業区分が加わったこと、事業内容に関しては、昨年に準拠していることの説明がありました。続けて質疑応答後、可決承認されました。

第3号議案の「任期満了に伴う役員の選任について」は総会資料に基づいて、平成23・24年度役員候補として、議長より以下の通り提案されました。

【理事候補】

佐藤直子、田村賢司、内田龍之、富岡信也、檜垣泰章、太田耕造、藤沼敏則、山本育史、平田竹男、古川彰治、土井洋、余語敏彦、白戸仁、森田常樹、安川裕也、平沢潤、金丸由紀、桑原崇、吉田友佳、辻野隆三

【監事候補】 鈴木継一

採決の結果、総正会員の過半数を超えているので役員選任については可決承認されました。

続いて、以下の通り会長、副会長、名誉顧問候補が提案され、推挙することが承認されました。

【会長候補】 森 章(森トラスト株式会社代表取締役社長)

【副会長候補】 増田宗昭(カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社代表取締役社長)

【副会長候補】 渡辺 功(前理事長)

【名誉顧問候補】 藤井孝男(前会長・参議院議員)

【名誉顧問候補】 石黒 修(前副会長)

引き続き、その他として会員からの質問・意見・要望などが出され、それぞれの担当より説明がありました。

以上



森トラスト株式会社
代表取締役社長 森 章



会長就任のご挨拶

東日本大震災がもたらした未曾有の災害は、総ての日本人に大きな試練を与えています。復興を通じて新たな日本へと変わることが求められる今、奇しくも佐藤直子さんが公益社団法人としてスタートする日本プロテニス協会初の女性理事長に就任されることになりました。テニスというスポーツを通じて広く社会に貢献することを求められる組織が、女性理事長を迎えてこれからの時代に対応した新たな活動を積極的に展開されることを期待すると同時に、日本の復興にも貢献されることを願い、応援したいと思っております。

副会長就任のご挨拶



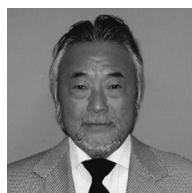
カルチュア・コンビニエンス・クラブ 株式会社
代表取締役社長 増田 宗昭

日本の人口は、今後減少傾向に向かっていくようですが、これは、社会環境の変化やマーケットの縮小など、さまざまな問題を孕みます。これまで比較的男性中心であったスポーツマーケットの縮小を阻み、さらなる発展を遂げるためには「女性の視点」が強く求められます。

このような時に公益社団法人となった日本プロテニス協会が、大きな期待を持って佐藤直子さんを初の女性理事長として選出されたことは、意義あることであり、同時に責任も重大です。

副会長としても少しでも佐藤直子新理事長の活躍を応援できればと考えております。

テニスの普及、テニス文化の創造、そして、健全なテニス・スピリットを伝播させるために励みます。



副会長 渡辺 功

この度、理事長を退任し、副会長として新たなスタートを切ることになりました。

その責務の重大さを感じつつ、私の持てる力を存分に発揮し、テニス界発展のために様々な角度から応援していきたいと思っております。

また、永きにわたり、理事長職を務めることができましたのも、ひとえに皆様のご厚情の賜物と心より感謝いたしております。

今後ともより多くの皆様のご理解とご高配を賜りたくここに心よりお願い申し上げます。

資格認定・研修事業部 部長就任のご挨拶



部長 富岡 信也

社団法人日本プロテニス協会は、2011年4月1日に公益社団法人日本プロテニス協会に移行しました。

それに伴い組織変更もありましてこの度、資格認定・研修事業部部長を仰せ付けられました富岡信也です。また副部長には余語敏彦理事が就任しました。

当事業部は6つの委員会から構成されています。

資格認定講習委員会は土井洋理事が委員長に就任しました。この委員会はJPTA・USPTAプロテストとUPテスト受験のための講習会開催が主な業務となります。

プロテスト委員会は余語敏彦理事が委員長に就任しました。この委員会は、JPTA・USPTAプロテストの実施業務です。

資質向上委員会は白戸仁理事が委員長に就任しました。この委員会は、向

上セミナーと指導技術セミナーの二本立てで展開します。特に指導技術セミナーは、一泊二日を予定しより指導技術の勉強に特化していきます。

安全管理委員会は、今後さらに要求される指導者のリスク管理能力を高める講習会を全国で展開していく予定です。

コンベンション委員会は安川裕也理事が委員長に就任しました。年一度のJPTAコンベンションの開催を業務とします。

ワークショップ委員会は公益法人化に伴い新設された「準会員」のための講習会開催が業務となります。委員長には、古川彰治理事が就任しました。

以上のように、各委員会はすばらしい指導者が委員長として就任しました。

公益社団法人日本プロテニス協会は「勉強する指導者団体」として動き出します。当事業部としては、更に学び、語り、伝達しながらJPTA会員の指導力向上を推進し、世界基準の指導者団体を目指したいと考えています。

今後共、公認・推薦・賛助企業各社の皆様、賛助会員の皆様、そして全国のJPTA会員の皆様にはご指導、ご協力よろしくお願い致します。

育成・普及事業部 部長就任のご挨拶



部長 藤沼 敏則

すでに今年4月1日付けで、新公益法人として認定を受け、名称も「公益社団法人日本プロテニス協会」ととなりましたが、公益社団法人に移行するにあたり、プロテニス協会の組織内容が今までの委員会制から、各委員会を小さくくりとした事業部会制となり、「資格認定・研修事業部」、「育成・普及事業部」、「広報企画推進事業部」の3事業部が組織の柱となりました。

今回「育成・普及事業部」の事業部長に任命されました

私と、副部長に任命されました、太田耕造・山本育史・平沢潤の3名とともにジュニア育成委員会、テニスの日委員会、国際大会委員会、国内大会委員会の4委員会を統括していくことになります。また各委員会はこれまでに活動してきました事業を引き継ぐと同時に、新たに任命された各委員長及び副委員長、これから選出いたします委員により、より良い活動がなされていくことになると思います。特に今回は、プレーヤー会員が理事に多く起用されたことにより、対外的にも対内的にも素晴らしい効果を生み出す事と確信しております。

ただ会員皆様のご協力とご指導があつての各委員会であり、事業部であることは間違いございません。今後さらなる皆様のご協力とご指導を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

広報企画推進事業部 部長就任のご挨拶



部長 田村賢司

部長・田村賢司 副部長・檜垣泰章・辻野隆三 公益法人への移行に伴い、広報企画推進事業部が設立され、副部長には檜垣泰章常務理事、辻野隆三理事に入ってください、以下の委員会他の業務をおこないます。

①広報委員会(委員長:金丸由紀理事 副委員長:辻野隆三理事)

今後協会活動に於いて情報発信力は大変重要な機能となると考えています。柱となるホームページに

関する業務、JPTAニュース等出版物の編集と発行、メール配信サービスなどを通じてより質の高い、有益な情報を会員の皆様へいち早く伝えてまいります。また、協会の諸活動を会員のみならず、企業・マスコミ等に対して行う広報に関する業務を強化し、JPTAの活動を広く内外に知らせるよう活動いたします。

②公認・認定・後援委員会(委員長:辻野隆三理事 副委員長:吉田友佳理事)

公認商品並びに企業に対する業務、また認定・後援等の業務を行います。同時に今後は公認企業はもとより認定スクールなどへも積極的に働きかけ、協会と連携した事業展開などにも取り組んでまいります。

③その他上記に付随する業務

それぞれの委員会がその使命を果たしていくよう全力で取り組んでいきます。

推薦理事就任のご挨拶



内田 龍之 副理事長

佐藤理事長の要請により引き続き理事という大役を引き受けさせて頂くことになりました。6年間微力ながらJPTAの発展に努力してきたつもりですが、更に会員の為のすばらしい強い組織にする為に力を注いでいくつもりです。

至らぬ点は多々あると思いますが、今まで以上に会員サービス等に力を入れ、更なる発展に寄与していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



太田 耕造 常務理事

この度、公益法人としてスタートしたJPTAで、佐藤直子新理事長の下で理事に推薦頂き、重大な使命に身の引き締まる思いです。

組織も変わり育成・普及事業部副部長として、引き続き、国際トーナメント、ジュニア育成、新たに出て来た組織運営管理部の部長としてJPTAの発展に微力ながら頑張っていきます。会員の皆様と共に誇りに思えるJPTAを目指したいと思っています。



山本 育史 常務理事

この度理事に推薦をいただき日本プロテニス協会の執行部の一員として活動をさせていただくことになりました、山本育史です。

今、日本全体が3月11日に起こった未曾有の大地震によって弱り、社会全体が大きなダメージを受けています。様々なことの価値観が一人一人に求められる時代になってきました。

現役を退いてからの10年間、全国各地でイベント、テニス教室を通じて多くの方々から沢山の元気をいただきました。特に子供たちとテニスコートで過ごす時間は本当に貴重であり、かけがいのない大切な時間でした。

理事としては右も左も分からない新米ではありますが、私が最も得意とするテニスを最大限に活用して、未来ある子供たちの夢と希望を閉ざさないよう、この2年間全力で取り組んで参ります。

どうぞよろしくお願いします。



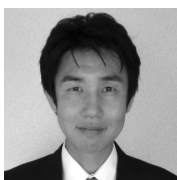
平田 竹男 常務理事

(財)日本サッカー協会専務理事の経験でお役に立てれば幸いです。



平沢 潤 理事

海外在住を活かし、USPTAを始めとした諸外国プロ協会との関係強化や事業提携などJPTAのグローバル化を進めると共に、JPTA主催の国際大会をよりレベルとクオリティーの高い大会になるよう努力致します。また、会員の皆さんへの情報提供や、皆さんのクラブで企画される海外遠征やトレーニングのお手伝いが出来たら幸いです。



桑原 崇 理事

この度、理事の拝命いたしました桑原崇です。

ジュニア委員会委員、資格認定委員会では、テスターとして協会活動のお手伝いをさせていただいておりました。テニスを楽しむ皆様に支えられ現在に至ります。少しずつですがお返しをしてみたいと思っています。益々のテニス普及と発展に努めてまいりたいと思います、どうぞ宜しくお願いいたします。



吉田 友佳 理事

この度、新しく理事に就任させて頂きました吉田友佳です。

テニスをお子供のころに始めてから、現役選手を引退した今も変わらず、テニスによって日々勉強させてもらい、テニスは自分の人生そのものだと感じております。

選手としての経験を活かし、プロテニス協会の一員として少しでもテニスの普及活動に貢献できるよう、会員の皆様と頑張っていきたいと思っています。

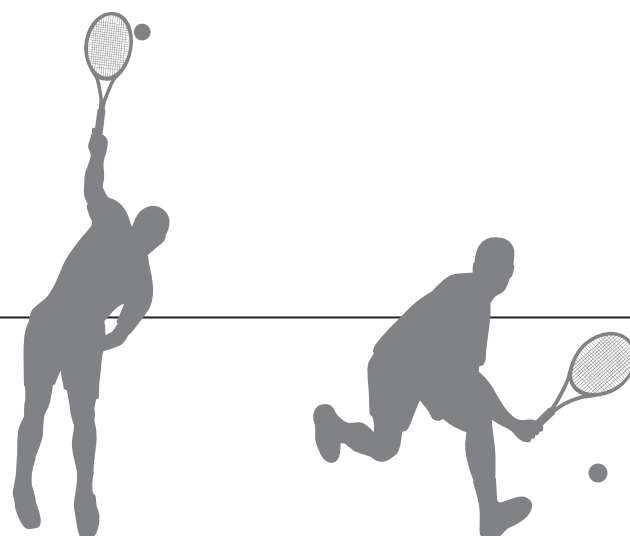


辻野 隆三 理事

この度、推薦理事という形で新理事に就任させて頂く事となりました、辻野隆三です。

日本プロテニス協会の理事という大役は、私自身にとってだけでなく、会員の皆さま、日本のテニス界の方々にとってとても大きな職務ですので、今、心の中は身の引き締まる気持ちで一杯です。

今後は会員の皆さま、プロテニス協会、そして日本のテニス界の為、色々な活動を通し、私の出来る限りの事を精一杯努力させて頂きたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。



指導技術

指導論

勝てる選手が育つ土壌を作るために今、必要なこと(続編)

一万時間の法則

日本テニス協会ナショナルチームゼネラルマネージャー
ナショナルチーム・デビスカップ代表監督

竹内 映二

前回の「勝てる選手が育つ土壌を作るために今、必要なこと」では、男子選手を一人前に育て上げる想像を絶するほどの長い育成強化時間であり、そのおよそ5～23才までの19年という長い年月の内の最初の部分である低年齢指導について書いた。

前回のおさらい

前回私が皆さんにお伝えしたかったことをまずここでまとめておきたい。私は前回、以下の6つのことをテーマに低年齢指導の大切さをお話させていただいた。

- 長期的視点でのコーチング
- 発達発達に合わせたトレーニング
- コーディネーション能力の開発
- 適切な経験値(試合数)の確保
- ゲームを基にしたアプローチ
- 態度を教える(好奇心や夢を持たせ、自分から果敢に挑戦する意志や情熱を育むこと)

今回は前回の低年齢指導に引き続き、その続編を書いてみたい。続編を書くにあたり、マルコム・グラッドウェル氏著で勝間和代氏訳の「天才!」という本の中から、才能を開花するのに有する時間の一万時間を時間軸とし、エピソードをお借りして紹介しながら我々の関わるジュニアテニスを考え併せて進めていきたいと思う。

才能の開花に有する一万時間

さて、本題に入ろう。複雑な仕事をうまくこなすためには最低限の練習量が必要であるという考えは、専門家の調査に繰り返し現れる。それどころか専門家たちは、世界に通用する人間に共通する魔法の数字(マジックナンバー)があるという意見で一致している。つまり一万時間である(マルコム・グラッドウェル氏著書の天才から抜粋)。

一万時間の練習が必要であることは、テニスでも例外ではなくITFのコーチング資料にも再三登場してくる。スポーツ選手から芸術家に至るまで、これより短い時間で世界的レベルに到達した例を見つけた調査はなく、専門的な能力(スキル)を身につけるためにはあたかも脳がこれだけの時間を必要としているかのようである。

よく古典芸能や寿司職人などさまざまな職業である程度一人前の技術が身に付くのに10年といわれるが、これがここでのいう一万時間と考えてよい。

テニスの場合のこのマジックナンバーである一万時間を18才までにこなす必要があるとされている。これはやはりテニスというスポーツの技術習得が、運動神経系の成長と大きく関わっているからだ。

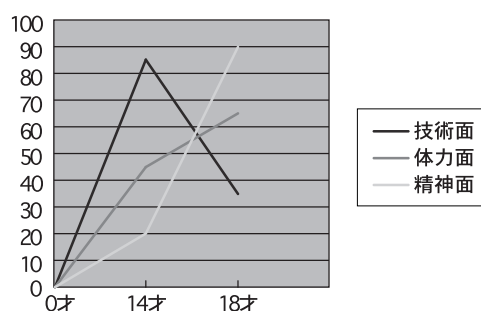
一昨年、私は個人的に備前を訪れた際、人間国宝級の陶芸家に、「10才になる前から土いじりを始めていないと、人間国宝にはなれない」ということをお聞きした覚えがある。この先生がおっしゃることも納得がいく話だ。土に直接手で触れている陶芸でさえ、運動神経系の成長と絡んでいることを考えると、やはり道具を使うスポーツでこの時期に適切なスキルを身につけなかったことは致命的な結果をもたらすことは当然のことであらう。

次のグラフを見ていただこう。これはITFの資料である。ジュニア期の技術面と体力面、そして精神面とそれぞれの学習習得速度を表している。

それぞれ三つのエリアにおけるトレーニングの習得の違いを示められているのが分かる。

我々指導者は、18才くらいになったジュニアが、何度もトライしてテクニック(スキル)を上達させるまた変えるのが難しく苦労を重ねているのを知っている。それに比べて14才ぐらいの年齢までは、指導者もジュニア本人も簡単にテクニックを上達させることができ、弱点の強化も問題なく進められるのが理解できる。

このため、よく言われるのが「14才までに一通りの技術を習得しておく」ことが大切であるわけだ。



それでは、低年齢までの間に(ここでは12才以下を指す)、いったい一万時間の中でどれだけ時間を費やせばいいのだろうか。スパルタ的にとにかくボールを打たせるのがよいのだろうか? 残念ながら子どもの身体はまだ厳しい練習に精神的にまた体力的に耐え抜くことができないのが上のグラフを見ても分かるだろう。年齢が進むにつれ徐々に興味や体力が向上し、長時間の集中や質の高い練習が可能になって来るのである。ここで皆さんに分かりやすいように便宜上だいたい1時間の時間と前回の推薦される試合数を打ちこんだ簡単な時間計画表を作成してみることにする。

一万時間を軸とした時間計画表

年齢 年数	5～6才から12才までの およそ7～8年間	13才から18才までの 6年間
練習・試合時間	3,000～4,000時間	6,000～7,000時間
推奨される 試合数と年齢	12才 40～50試合 (ヨーロッパのレポートでは11才ですでに65試合)	14才 60試合 16才 70試合 18才 70-80試合
技術的ゴール	14才までにすべてのテクニックをある程度習得しておく	習得された技術をより精度高く完成させる
開発されるべき 能力	時間をかけてコーディネーション全般、他のスポーツ体験 心肺機能の向上、俊敏性、反応、スピードなど	コーディネーション全般よりテニス競技に近いトレーニング 心肺機能、ウエイトトレーニング(14才ぐらいから)

簡単な表で申し訳ないが、ここでは概念だけご理解いただいて、細かいディテールに関しては文献などをご覧になって勉強していただけたらと思う。ここでのいう年齢とは、歴年齢であり、本来なら子どもそれぞれに成長が違い生物学的年齢で語られるべきであると付け加えておく。

一万時間を超えさえすればよい、また練習時間が長ければ長いほどよいと

指導論

いうのではないことは、指導者なら誰でも気づいているだろう。サッカーでは、子どものうちのボールへのタッチ数に着目している。そのために、子どものピッチを狭く設定し人数も減らすことで、すべての子どもがゲームに参加ししかも適数であるタッチ数が、短い時間の中で確保できるからだ。テニスもご多分にもれずサッカーでいうところのタッチ数であるラケットとボールが触れるタッチ数の確保が大前提だろう。このことを理解できれば、コートサイズを小さくして相手との距離を縮めラリーを中心としたメニューを紹介しているPlay & StayやTennis 10の意味が理解できるであろう。

タッチ数とゲームを基にしたアプローチが伴う質と、正しく理解された才能を開花させるために有する一万時間という莫大な量が理解され、うまく子どもの発育発達に合わせて練習と試合の時間や内容がシステムティックにコントロールされデザインされることが大切である。

子どもの成長スピードの差と年齢別カテゴリー分けが生み出す不公平

私はスポーツ界でよく言われる「生まれつきの才能などない。生まれつきの才能と思われるほとんどの能力は後天的に備わったものだ」と言うことばを疑いもなく信じている。

なぜなら、世界のスポーツや我々の愛するスポーツ、テニスの中にもいくつかの疑問にぶつかるからだ。たとえば、どうして日本に小さな村から優秀なスキーマーが生まれるのか？どうして、ウィリアム姉妹やブライアン兄弟、ブラック三兄弟は誰もかけることなくトップ選手へと成長したのだろうか？どうして、ロシアは毎年多くのトップ100の女子選手を生み出しているのに男子選手は出ないのか？…など、教育熱心な両親やその国の伝統や社会、時代背景の中でどのような教育等を受けて経験を積んだ結果としか思えない、成功例が多く存在するからだ。

もし、身近の子どもが、才能が開花するために有する時間である一万時間を大きく下回る時間しか達成できていなかったらどうだろう？身近な子どもが歴年齢制度の中で乗り遅れていたらどうだろう？一見、うまくいっているように見えるシステムにも弱点があり、意外にそのことが理解されていないようなことがテニス界にも多く存在するのである。

たとえば、昨年、あるセミナーで「日本人は外国人と比べて晩熟(おくて)であるか？」という質問を投げかけたことがある。大半が「はい」と答えたのである。以下の表を見ていただきたい。

男性の精通年齢

日本	ドイツ	デンマーク	アメリカ
12才10ヶ月	14才1ヶ月	13才5ヶ月	14才

この表は男性の精通年齢を示したもので、意外にも日本の子どもは早熟なの分かる。しかもここ最近では拍車がかかって早くなっているようである。自分たちが指導している子どもが早熟であるか晩熟であるかは大きな差を生んでしまうことは容易に理解できる。もう一度、一万時間を軸にした時間計画表を見ていただきたい。この表のどこに子どもが位置するかを知らずにトレーニングされていたとしたら、その子どもの才能は正しく伸ばすことができるであろうか？答えは「いいえ」である。子どもの成長差は男女で2年差があり(女子の方が早熟)、個体差は±2年とされているのである。このことから同じスクールに入っている同じ年に生まれた子どもの年齢差も最大で4年の開きがあることが分かる。実際にはこの4年の開きにより子どもたちの能力に差が見られるのであるが、多くの場合は早熟の子どもを「素質がある」と見がちである。しかもその子どもが早くテニスを始めていれば当然その子が期待を受け選抜されることになるだろう。

我々テニスだけでなく多くのスポーツが年齢別のカテゴリーに分けて育成強化の試合を行っているが、ここにも問題が潜んでいる。子どもが参加する試合は、2年ごとのカテゴリー分けがされていて、14才なら今年14才になる子どもと来年14才になる1年の開きがある子どもが参加している。そのように見える。実際は、今年の1月1日に誕生日を迎えた14才と来年の12月31日に生まれた子どもが存在するわけだから、およそ2年の開きがあるわけだ。この誕生日の2年の開きに成長の個人差の4年を合わせると、最大で6年の開きがあることになってしまう。

同じ14才以下で、一番遅く生まれた子どもと一番早く生まれた子どもの比較

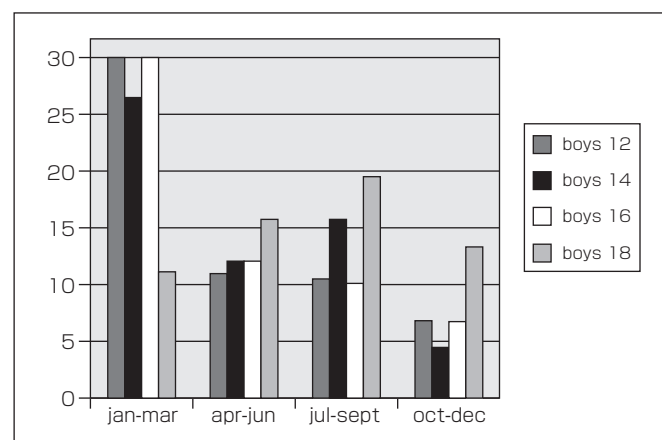
歴年齢	1998年12月31日生まれの13才 同い年の子どもより約一年遅く生まれている	1997年1月1日生まれの14才 同い年の子どもで一番早く生まれ、左のこと約2年の開きがある
生物学的年齢	おくての場合は、-2年のハンデがあり、最大の開きは11才の身体といえる 当然、遅く生まれれば逆に早熟なら、15才の身体といえる	早熟の場合は、+2年のアドバンテージがあり、最大の開きは16才の身体といえる 当然、早く生まれれば逆におくてなら、12才の身体といえる

グラッドウェル氏も著書の中で、カナダの育成からプロまでシステムティックに育成強化に努めているメディスン・ハット・タイガースというアイスホッケーチームに1,2,3月生まれがとてつもなく多いことを指摘している。それを見てカナダのアイスホッケーリーグ全体を調べてみると、なんと、どの選抜チームも全選手の40%が1～3月生まれだった(4～6月生まれ30%、7～9月生まれ20%、10～12月生まれ10%)。また、氏は著書の中でチェコのサッカーやアイスホッケーチームから同じような結果を引き出している。

以下のグラフは、ITFの資料で、スロベニア男子ジュニアの成功と誕生日付を示している。早く成長することが低年齢の場合にとっても優位に働き、テニスの成績にも影響していることが読み取れるだろう。

このような国々では半分の才能は、このスポーツ社会とシステムによって才能のある子どもが浪費されていることになる。

このグラフの後半で晩熟(遅咲き)が徐々に挽回している様子が目に留まる。決してこの遅咲きの子どもを見逃してはならないのである。



しかしながら我々の日本テニス社会には、1月～12月のカレンダー制と4月で区切る教育制度の教育不公平問題は別としてこのふたつが存在

指導論

し、調査はしていないがまんざらでもないような結果を生んでいるようである。それは学校を中心としたテニスが小学校、中学校、高等学校と続き、4月からの切り目ができることで、早生まれが参加できないシステムが共存しているからだろう。

特に低年齢であれば、発育発達の差はびっくりするぐらい大きく、年齢が行けばいくほどその差は小さくなるがそのことを知り仕組みをうまく利用する指導者は少ない。

子どもを成功させるためにあの手この手で生み出す仕組みとチャンスは簡単に変えられ作り出すことができるのである。

ビーナス姉妹がジュニア期に子どもの試合に参加しなかったことも、偶然にも?いい方向へ姉妹を導いたようにも思える。

環境の後押し(ギフト)

もう一度言おう。才能のある子どもの高い能力は、後天的に獲得(開花)されたものである。特に、子どものころは、誰かに導かれてスポーツに親しみ、誰かに教えられて向上し、その結果、スポーツと関わっていく楽しさや価値を徐々に見出していくものである。「子どもたちにとって幸せなことは、優秀な指導者と出会うことである」という言葉もあるように、自立するためには、第三者の支援が必要不可欠なのである。この時期のコーチングは極めて重要であり、上記のような目的を達成しようとするならば、スポーツに対する幅広い知識のみならず豊かな人間性に裏打ちされた高い専門性が必要になる。

グラッドウェル氏も著書の中で注目しているのは、才能のある子どもと言われる人本人の内部要因ではなく、才能を生むための「社会や共同体」が担った役割、すなわち外部要因である。

また、氏は著書の中で、成功とは人間が自分のために行う決断や努力の単純な総和ではない。むしろ外部要因が与えた贈り物(ギフト)であると書いている。

5月にJOCの会議に参加したときに、トップアスリートを育てるために必要な外部要因(ギフト)が7つ上げられていたのでご紹介しておこう。

- 世界基準の組織
- パフォーマンスパスウェイ
- システムティックなタレント発掘
- マネジメント
- トレーニング拠点
- 新たなトレーニング方法
- 高質なコーチング

テニスにおいては、具体的にどんなものがグラッドウェル氏の言う、またJOCが示すところの贈り物(ギフト)となるのであろう。私のジュニア期でさえ、さかのぼるといくつかの贈り物(以下ギフト)を頂いていたの思い起こされる。たとえば、父親が用意した練習合宿やヒッティングパートナー、また父親が開いた外国人コーチによるクリニック、子どもの試合がなかった時代で開催された冬季ジュニアトーナメント(現在のジョージカップ)、また川廷榮一氏がプロデュースしたローズウォールアカデミーなどであろう。

ギフトとは一般に言えば、たとえばクラブ間同士で築きあった連携から生まれる練習会や試合会、都道府県のジュニア委員会が用意した練習会、ナショナルチームに入って厳しい練習・試合環境を与えられるといったことであろう。

そのギフトを最大限に生かすためには、以下のふたつの条件が必要になってくる。

ひとつ目は、わずかなアドバンテージが将来を左右する、そのアドバンテージの累積が必要であると認識し、必要なトレーニング量(高質なコーチング、質の高い練習と練習量の確保、そして適切な試合体験)を発育発達に合わせてこなすこと。ふたつ目は、テニスの心技体各分野の成長と本人の発育発達に合わせてアドバンテージをもらえるタイミングを計ることである。

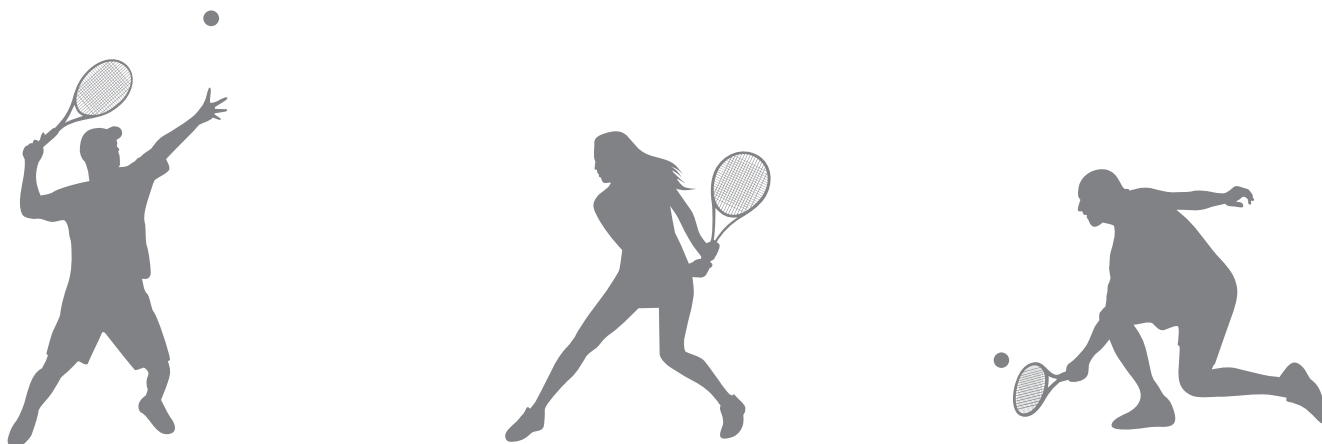
情熱を持った指導者の下に才能は集う

伝統を継承していくのは我々の当然の義務と言ってもよい。しかし、過去の延長線上に未来はないとも言える。諸先輩が築きあげた現状を維持するのはある意味楽だが、テニスを生業として生きる我々が、一歩先を見て直さなければならなくなる前に直すといった努力が必要なのであろう。

小学校から高校へとつながるテニスの橋は、私が子どものころに遊んだグラグラ橋のように狭くて不安定である。我々指導者は、子どもたちの未来に触れているのである。子どもたちが進もうとしているこの細くて狭い不安定な橋を、我々指導者がしっかりした橋に作り替える必要がある。

子どもたちのためによりよいテニス界を築くために我々に求められることは、私たち昭和40年代から60年代を生きた歴史の幸せな偶然や限られた地域での幸運や気まぐれな育成強化策の代わりに、すべてのテニスを愛する子どもたちによりよい機会を均等に与えられるテニス界を築くことであろう。

どうか皆で子どもたちの未来を育てましょう!



指導技術

技術論

バックハンドストロークの指導論

資格認定講習委員会 副委員長 八島 正幸

前回のフォアハンドストローク編に続き、今回はバックハンドストロークをテーマとしてご案内致します。
これは初心者から上級者まで通じる教え方の手順・考え方で、ジュニアは小学生から全日本ジュニアベスト4選手まで、一般は初心者からレディースプレイヤー・全日本ベテランクラスの方にも実際にこの方法を導入できます。
※フォアハンドストロークも同じ発想なので、現在は同時進行で教えられる。

1 身体の使い方

<1-1 両手打ち>

ア) 腰骨の動き方の紹介



イ) 分かりやすい方法として、バスケットボールやメディシンボールを投げて腰のひねりをマスターするとよいでしょう



ウ) 前を向いて腕を180°伸ばす



エ) 次に160°ぐらいにする



(脇は、ボール1個入るくらい)

オ) そのまま身体をひねる



戻す



フィニッシュでは、あごに左肩がつくぐらいまで腕を伸ばす
そして左手で右手に触れる

さらに反対側を向く(左腰が前に来るまで)

カ) 体重移動は、左足から右足へ

フィニッシュの後は、左足のかかとを上げるくらい伸ばす



(左足)



(右足)



技術論

キ) 同じ事をステップインで行う（打つ前の踏み込みの動作を加える）



<1-2 片手打ち>

オープンスタンスとしては、(ア)～(キ)まで同じと考える

但し、ステップインの時は、右足体重となり、その軸から体の捻りを使う



2 ボールを使って(実際のボール感が身につく。手で行う方が分かりやすい。)

<2-1 両手打ち>

ア) 左手でボールを持って、前述1項身体の使い方の流れでボールを「掴む」



※フィニッシュの形で
1～2秒間静止する

①オープンスタンス

ボールがやや遠くであれば少し動いて掴む



②ステップイン



イ) 同様の考え方で「手で打つ」

⇒真っすぐ飛んだらOK

※少し外上に打つ事を強調する

※ネット近くから行うとよりリアル

技術論

<2-2 片手打ち>

ア) 左手でボールを持って、前述1項身体の使い方の流れでボールを「掴む」

① オープンスタンス



② ステップイン(踏み込み)



イ) 同様の考え方で「手の甲か、または横で打つ」

⇒ 真っすぐ飛んだらOK

※ 少し外上に打つ事を強調する

※ ネット近くから行くとよりリアル



3 グリップの考え方

現在、初心者への導入は100%両手打ちからスタートしています。

しかし、バドミントンや軟式テニスの経験があり、最初から片手の方もおられるので紹介します。

<3-1 両手用>

ア) 右手フォア (初心～初級用)
(利き腕)



イ) 右手バック (中級以上)
(利き腕)



<3-2 片手用>

ア) コンチネンタル
(スライスは打ちやすい)



イ) イースタン
(フラット打ちとして最適である)



ウ) セミウエスタン
(強いトップスピンが打てる)



技術論

4 ラケットを使って自分で打つ

<4-1 ゴルフテニス(初心者またはジュニア向き 転がすのもOK)>

4-1-1. 両手用



4-1-2. 片手用



※ボールを運ぶ感覚・押す・腰のひねり・下から上へのスウィングを理解できる
※打つのではなく、ノーテイクバックでラケットをボールに当てたところからスタート

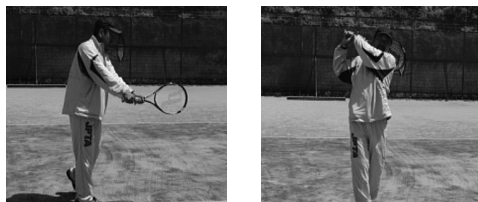
<4-2 ラケットでワンバウンドしたボールを打つ(オープンスタンス、ステップイン)>

4-2-1. 両手用

①左手で打つ



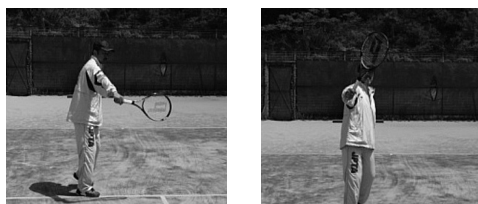
②両手で打つ(オープンスタンス、ステップイン)



4-2-2. 片手用



①下から上へのスウィング



②しっかりとリストを使う(ワイパー)



技術論

<4-3 スウィングボレー(ノーバウンドで打つ)※両手打ちの強化に効果的>



5 コーチが投げて生徒が打つ

ア) 手で落として



イ) 少し離れたところからトスして



ラケットを引くタイミングを教える(コーチが投げる為に肩・腕を後ろに引いたらラケットを引く)



ウ) ラケット出し



エ) ネットにお腹を当てて打点「前」を教える

(両手)



(片手)



横からやや外上へのファイバースウィングを教える

横から見ると分かる

技術論

6 30年前からある段階式の紹介(FGS と発想は同じ)

ア) 打点の位置で手で取る



イ) 打点の位置でラケットに当てる



ウ) ラケットで一度止めてからフォロースルー



エ) 短いテイクバックから短いフォロースルー



オ) 相手にワンバウンドかノーバウンドで返球。打った後1～2秒静止する

この教え方は、矯正練習等にも最適で分かり易い
今でもプライベートレッスンに使える



カ) ネット越し



生徒の位置を段々下げる。また、ターゲットも同様にする

7 その他

矯正法

ア) 道具を使って体のバランスをチェックする



8ポート(アメリカ製)



バランスボード

この道具の矯正率は95%効果的です

試合の連戦後にリハビリにきた全日本レベルの選手を、これで修正できています
四日市高校テニス部や、ゴルフの上田桃子さんのアカデミーでも使用されています

<まとめ>

両手打ちバックハンドは、両手で持つのでフォームとしてはバランスが良く、体の使い方は良くなる傾向です。気をつけるポイントは、①ラケットの引き、②打点(とてもフットワークが重要)です。

技術論

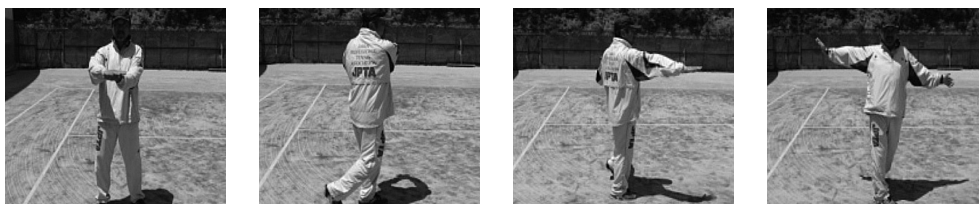
応用編

片手打ちの体の使い方とスライスショットの打ち方の導入手順

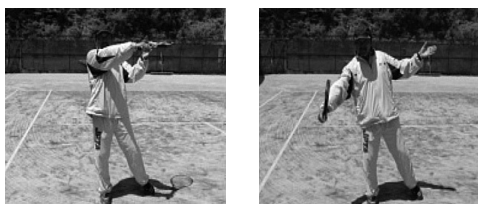
① ゴルフテニスの反対版



② 空手チョップ



③ 円の説明と素振り



④ ステップインしたところから振り抜き



⑤ 構えから、①ターン ②ステップイン ③で打つ (ノーバウンド)

⑥ ワンバウンドで高い打点を打つ
・サービスライン

・ベースライン

⑦ ミニラリーでスライスバック

・手前 ⇒ 面0°(水平)



・サービスライン ⇒



面を少しずつ立てていく(30-80°くらいまで)



・ベースラインで

スライスのみで
打つ

ネット近くより

サービスライン辺りより

ベースライン辺りより

技術論

指導論の一例

A 悩み

アウトが多い。少しスライス気味になったりする。

B 目標(Goal)・・・「どうなりたい?」⇒プロテストで、こういう風に質問する人が、最近少ないです。

- ㊦ バシット打ちたい
- ㊦ スピンをかけたい
- ㊦ 振り抜いて打ちたい
- ㊦ しっかり、パスを打ちたい
- ㊦ 相手が、前へ出た時足元に落としたい

C チェック

<現象>

- ① ヘッドが立ったまま打っていた
- ② 両手を握りしめたまま固い
- ③ 膝が曲がっていない



①



②



③

<改善案>

- ① 膝の曲がりがないため、ラケットヘッドが落ちていないので、そこを治す矯正法を紹介する
- ② 力が入っていて脱力していない

D 矯正例

① 案

① イスに座る



② イスから立って打つ



③ その気持ちで打つ前に座って打つ



② 案

① ネットぎりぎり前から打たす



② おのずと膝を折って下から持ち上げなければネットに掛かる事を認識させる

技術論

③分かったら構えから



(構える)



(横向きながら)



(膝を折ってタメを作る)



(伸びあがりながらヒット)



(フィニッシュ)

◎案

①サービスライン上にヘッドを付けておく

下から上に打つ

(おのずと膝を曲げて)



②ボールを出されたら、そこから打つ



③横向き普通から地面につけるくらいの気持ちで下から上へ打つ



④構えから同様に行う

◎案

①脱力の練習

㊦ラケット無しで

(片手:左手のみ)



(両手で)



㊦ラケット使って

(左手でラケットを持って、リストをわざと使う)



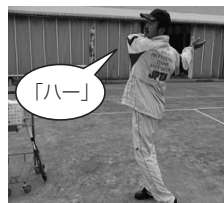
技術論

(両手でラケットを持ってリストの「しなり」をいれる)



②脱力の体操

㊦ラケット無しで
(オープンスタンス)



(ステップイン)



㊦ラケット使って

(オープンで膝を折って脱力して)



(ステップインで膝を折って脱力して)



上記のようなストーリーで考えると、見極めができます。また、生徒のGOALを見定めていくことで、たくさんの矯正法が生まれてきます。最終的に、人の性格が個性豊かな様に、アドバイスの受けとり方も人それぞれの解釈となる事があるので、その人にあった教え方を見つけていかなければなりません。

これでダメなら次はこれで…と云うように。どんどん、いろんな事にトライしていきましょう。

そして、その生徒さんを「テニスの虜」にさせてください。テニスファンをどんどん作って行きましょう!!

今後は、人間学を学び自分自身を磨き、コミュニケーション能力を上げないと良い指導は出来ません。

学校の先生の中に、テニスの技術は未熟でも一流選手を育てているのは、教育学をしっかりと学んでいるからだと思います。

我々プロコーチも負けずに頑張りましょう。まだまだ、テニス指導の終わりはありませんからね!!

「時の人」

兵庫県ゴルフ連盟理事・
ジュニア育成委員会委員長

因田 宏紀 氏

Inden Hiroki

前回から始めましたこの「時の人」では、テニス界のみならず、様々な分野で活躍されている方にお話を伺い、視野を広げてテニス界を盛り上げるヒントをみつけていきたいと思います。

第2回目は、朝日放送スポーツアナウンサーから番組プロデューサーを経てスポーツ局長、その後ゴルフ場の総支配人等役員を歴任され、現在は関西および兵庫県ゴルフ連盟の理事・委員を務めておられます因田宏紀さんにお話を伺いました。

華やかな職歴の中で、一貫して持っておられたスポーツイベントのマネジメントへの情熱、そしてスポーツの真の良さと可能性の追求に今なお邁進しておられる因田さんのお話は、本当に興味深いものでした。

聞き手：金丸 由紀



『スポーツアナ時代、テニスのジャパンオープンを実況放送したときの解説は渡辺功さんでした』

金丸 はじめまして。今日はよろしくお願い致します。

プロフィールを拝見しますと、樺太でお生まれになったんですね。

因田 そうです。終戦の混沌とした中、北海道に引き揚げ船で辿り着き、父親の故郷三重県は鈴鹿の麓に移り、四日市の中学・高校時代にテニスと出会いました。四日市は軟式テニスが盛んで全日本チャンピオンが出ていましたが、次第に硬式テニスが盛んになっていきました。黒松姉弟や九鬼さんの中学高校時代のことを覚えていますよ。

大学卒業後、大阪の朝日放送に就職してスポーツアナを20年、プロデューサーを10年、管理職を6年、最後はゴルフ場経営と、まさに「スポーツ馬鹿」の人生です。

金丸 では順に伺いますね。スポーツアナウンサー時代に、実況で特に印象に残っていることは何でしょうか？数え切れないほど多くの実況をなさったと思うのですが…。

因田 そうですね。本当に多くの種目の実況放送をしました。その中でテニスの実況は、ヒットユニオンが冠スポンサーの、田園コロシアムで開催されたジャパンオープンを担当しました。

テニスの実況は当時もあまりたくさんはなかったのですが、大阪の朝日放送が大阪発全国ネットで放送したんです。私はサブアナウンサーで担当したのは準決勝、解説は渡辺功さんでした。

金丸 そうでしたか！それはまたご縁ですね！

因田 当時は神和住さん平井さんの時代で、福井さんはまさに「とれとれ」の新人だった記憶があります。2回目のテニスブーム

の少し前で、電波メディアもテニスをメインスポーツと認識していませんでしたし、朝日放送としてもそれが最初で最後のテニス中継放送だったと思います。

後に系列局のテレビ朝日が一時ウインブルドンを放送した時期があります。渡辺功さんの弟さんが、テレビ朝日のスポーツのディレクターと一緒に仕事をしました。

私は当時、これをきっかけにテニスを知らねば!と思い、沢松姉妹のコーチをされていた吉岡さんが朝日放送の大先輩でしたので、沢松家で姉妹の練習を見てテニスの勉強をしました。

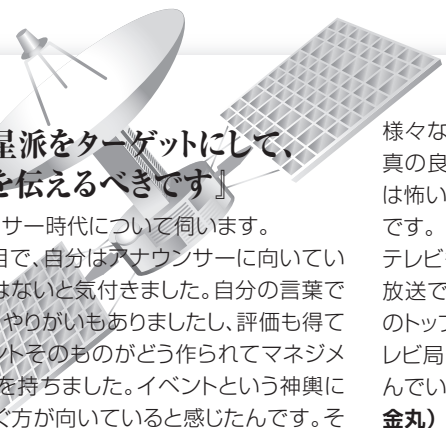
美人のお母さんが出してくださったお茶はひときり美味しかったのは忘れません(笑)。テニスは中高生時代から身近な存在でしたし、興味はずっとありました。

金丸 テニスという競技は、実況しやすかったですか？それともしにくいスポーツでしたか？

因田 難しいと思いました。

金丸 どのような点が？

因田 ラジオの野球実況が多かったので戸惑いました。テニスのテレビ中継には映像があります。アナウンサーがべらべらしゃべるものではないし、ポイントポイントの流れがあるので言葉の選択が難しかったです。勢いにまかせてしゃべるのではなく、解説の方の専門的な見方を生かして行くように、言葉数を出来るだけ少なくしたいと思いました。これは後のゴルフ中継にも同じことを感じました。フランスとイギリス、共通したそのスポーツのバックグラウンドがあるように思います。最近のスポーツ実況はすべて格闘競技実況になっているようですね。



『スポーツは今後衛星派をターゲットにして、本来の素晴らしさを伝えるべきです』

金丸 では次に、プロデューサー時代について伺います。

因田 スポーツアナ10年目で、自分はアナウンサーに向いていない、これは自分の仕事ではないと気付きました。自分の言葉で現象を伝えるのは楽しいし、やりがいもありましたし、評価も得ていましたが、スポーツイベントそのものがどう作られてマネジメントされているのかに興味を持ちました。イベントという神輿に乗るよりも神輿を作って担ぐ方が向いていると感じたんです。それで11年目から毎年異動願いを提出しました。

金丸 そこから10年間、提出し続けられた訳ですか。

因田 その間アナウンサーをやりながら、当時のプロデューサーがまだやっていない「マネジメントの顔」を作っていました。例えばプロ野球界であれば球団の選手や監督・フロント関係に人脈を作り球団に入っていくなど、アナウンサーの枠を超えて動いていました。

そしてちょうど20年目で、会社も私の我儘を聞き入れてくれました。

金丸 入社20年目ならまだ42～43歳、お若いプロデューサーでありながら、既に各方面に人脈を築いておられたんですね。

因田 野球のみならず、あらゆる競技団体とのつながりを持っていた点では、誰にも負けたいと自負しておりました。これも実況アナウンサーをやったお蔭です。

金丸 今さらの質問で恐縮なのですが、スポーツ番組プロデューサーとはどのようなお仕事なのでしょう？

因田 その番組の全ての責任者です。そのイベントの放送・放映の権利交渉に始まり、放映料をいくら払うとか、協会や主催者側とあらゆる話を煮詰めます。社内的には編成と放送枠の設定、営業との調整、放送までの諸作業を担当ディレクターに指示確認する。結果、番組が良くても悪くても全ての責任はプロデューサーにあります。

金丸 そうして望んでなられたプロデューサーですが、苦労された点はどのようなことですか？

因田 苦労ではないですが、大変だったことと言えば例えば野球では阪神タイガースとの交渉がありました。当時プロ野球球団で収支が取れて儲かっていたのは強い巨人と、不思議なことに負けてばかりの弱い阪神だけでした。巨人は強い上に儲かっている。阪神は弱いくせに放映料の値上げばかり要求してくる。赤字球団ばかりのパリーグでは考えられないビジネス交渉でした。

でもそんなやりとりの中で、スポーツイベントというものは大きな商売、ビジネスになるんだと気付きました。そして、テレビはスポーツビジネスを育てるかも知れないけれど、もしテレビが見向きもしなければ、そのスポーツビジネスが廃退していくかも知れない。テレビは怖いと思いました。

金丸 確かにそう思います。テニスはメディアに嫌われていると言われているのですが、好かれるにはどうすればいいですか？

因田 本当に嫌われていますか？

金丸 そう聞いています。観るスポーツとして定着しておらず、スポンサーが付きづらい。試合の所要時間が読めず予定が組み難い。

因田 それはおそらく地上波テレビだけをお考えだからではないですか？

私はプロデューサーをやるようになり、いろいろなスポーツを

様々な角度から見せて頂いて、スポーツ本来の姿を通してその真の良さを知りました。そしてテレビとスポーツビジネスの関係は怖いものではありませんが、一緒に成長発展してきたことは事実です。

テレビも時代が変わってきています。地上波だけではなく、衛星放送で空から映像が降りてくる。何百チャンネルもあって、世界のトップの最新情報がどんどん飛び込んでくるので、地上波のテレビ局は衛星放送とどう向かい合い利用していくか、非常に苦しんでいます。ある面で、競技サイドから言えばチャンスですよ。

金丸 なぜでしょうか？

因田 衛星放送が始まりチャンネル数は増えて、ハード(枠)の方はどんどん増えるのにソフト(コンテンツ)がついて行っていない。スポーツというソフトはテレビにとって最高のソフトです。競技サイドは電波メディアをどう利用して外に向けてアピールしていくかという視点から考えてはどうでしょうか。

金丸 嫌われていると決めつけずに、チャンスと思うべきだということですか。テニスは競技時間が長いのがネックではないですか？

因田 地上波テレビのソフトとしては、もはやスポーツは編成上対象ではありません。テニスでもゴルフでも、時間の計算ができないようなものは、切りまくって編集したものしか流せない。それではスポーツそのものの良さは伝えられません。スポーツはCS・BSの衛星放送をターゲットにしていくなかで、失礼ですが、テニスの地上波でのテレビ放送の時代は終わったでしょう。

金丸 確かに、先日放送されていたゴルフトーナメントでも石川遼選手しか映らない感じがした。他の上位選手が一瞬しか映らないなんて、これはもう石川遼ショーだから本当のゴルフファンはテレビを見なくなると、ゴルフ好きの人が言っていました。

因田 タイガーウッズショーばかりです。そのスポーツ本来の姿や素晴らしさを伝えていない。そういうことを続けていると、そのスポーツが好きな人が見なくなり、そのスポーツが放映されなくなり、そしてきっとそのスポーツの人氣がなくなってしまう。テニスは決してその轍は踏まないで下さいね。変な飾り物や演出はスポーツ中継にはいりません。視聴率だけの為に余計なタレントを使うのは邪道です。「シンプルがベスト」です。

金丸 だから衛星波を味方につけるべきだと。インターネット通信にチャンスがありますか？

因田 国内外も経済全体がづらい時期だし、時代は刻々と変わりますので、今は将来に向けてしっかりリサーチしていくべきでしょう。それが機構や協会の果たす役割で、そのスポーツを盛り上げていく為には、若い層に向けてインターネットなどでどんどん情報を発信していくべきだと思います。

金丸 「見て楽しむ」と「放映がない」のは表裏一体で、見たことがないから知らない、知らないから面白くない、興味を引けないから発展しないという図式を破らないとスポーツビジネスとしてのテニスは発展しないでしょう？

因田 スポンサーの付きにくい昨今、企業は限られた宣伝費をより効果のあるものに使う。衛星放送の放映料は地上波の約1/10ですから、スポーツは今後衛星放送の方に移行していくでしょうね。日本国内の限られた宣伝費を、あらゆるメディアで取り合っているのが現状です。

CS・BSの衛星放送に対しても1局に頼るのでなく、「よければ(放映権を)買いませんか?」というドライな姿勢の方がいいですよ。「放映権を渡すのだからより良い商品にして売るのがテレビ

局の仕事でしょう?」と言えいいんです。それで断られたら次を探せばいい。

そしてテニスをスポーツビジネスとして盛り上げていくには、やはり錦織選手などの若い素晴らしい現役選手や、知名度の高い伊達公子さん松岡修造さん、杉山愛さん等を神輿に乗せてこれでもかという位アピールすることですね。

金丸 著名な選手はIMG等のエーজेंटの縛りがきつくて、なかなか思うように動いては頂けないのが現状です。

因田 マネジメント会社がなんと言おうと、日本を代表するプレイヤーなのだから、それなりの理解と協力をしてくれるようにしていかなければならないでしょう。それが協会の役目ではないかと思います。

『我々協会の人間が、従来の上から目線ではなく、伝えることに尽力することが大切です』

金丸 では次に、ゴルフとの関わりについてお話を伺います。ABCゴルフ倶楽部の社長総支配人を歴任され、現在も関西ゴルフ連盟委員であり、また兵庫県ゴルフ連盟理事でジュニア委員長を務めていらっしゃいますね。

日本最古のゴルフトーナメントである関西オープン賞の賞金額を上げてツアー競技に参入し、そこでツアーデビューした石川遼選手等の登場で結果的に大ブレイクしたと伺っています。

因田 そうです。どうしたら関西オープンをもっと商品価値のあるイベントに盛り上げることができるかを議論しまして、ツアー参入とお金が工面できるならば、前進しようということになりました。関西ゴルフ連盟のトップ森下洋一理事長の存在と決断が大きかったと思います。

そして今私はプロのツアーよりも、ちゃんとしたジュニアを育てたいと思ってそちらに力を入れています。

金丸 「ちゃんとした」とはどういうことでしょうか?

因田 「これで将来まともな社会人として通用するのかな?」と疑問に思うような子供達がゴルフをしているんです。子供達が悪いのではなく、そうさせている親がいて、そうさせる環境がある。私もまたそうした環境を作ってきたひとりであると考えまして、ゴルフ連盟あげて「ちゃんとした」ゴルファーを育てていかねばならないと思っています。

兵庫県ゴルフ連盟には現在680人(高校生258人中学生116人小学生222人幼稚園4人)のジュニアが選手登録しています。そのトップ約40人に対して月例で研修会を行って、挨拶から始めて学校の成績も含めて考慮し「ゴルフとはどんなものか」を親も一緒に理解してもらうように働きかけています。学校なんか行かないでいい、ゴルフだけやっていれば良いと親が言うから、成績表に5や4がある子がいない。授業に出ないから体育さえ3以下です。

昨年の1月にスタートして1年半、挨拶ができない子やアップシューズでゴルフ場に来る子はいなくなりました。また、茶髪にサンダル、携帯で話しながらゴルフ倶楽部に来ていた親たちにも、ゴルフとは本来どのようなスポーツかを話して理解してもらい、来年あたりからジュニアの大会でキャディのサポートや競技委員の手伝いもして貰い、親子を離すのではなく、親も一緒にゴルフイベントに巻き込んでいこうと考えています。

金丸 1年半も月例で続けてこられたというのは素晴らしいですね!子供にテニスをさせていても、親は即儲かるとあまり考えて

いないですが、ゴルフは稼げるという発想が根強いのでしょうか。

因田 そうかも知れません。ただ、お父さんお母さんもゴルフというスポーツの良さ素晴らしさを知らないんです。だから我々協会の人間がきちんと教えてあげないといけません。従来の上から目線ではなく、伝えることに尽力することが大切ですね。

子供たちは大人をととてもよく見ていますよ。幸い現在プロゴルフ界には、石川遼選手・宮里藍選手をはじめ若くて素晴らしい人材がいます。ジュニア選手育成には彼らの力を活用するのが一番いいのです。子供達が「あんなプロになりたい!」「あんな人になりたい!」と素直に思える環境整理をしていくのが組織の役割だと考えて、兵庫県ではそれを始めています。

金丸 そうですね。すぐれた選手にあこがれ尊敬すれば、その影響力は大きいですね!

因田 日本ゴルフ協会の女子強化委員長に聞きました。「こうしなさい、あしなさい」といっても効き目は無いそうです。

ジュニアナショナルチームの選手達がいてところで「藍ちゃんは試合の後で、こんなことまでしてたよ、すごいね、さすが藍ちゃんは違うよね!」「態度もマナーもいつもちゃんとしてるよね」と他の選手に聞こえるように言うだけだったそうです。翌日には右へおえ、藍ちゃんに倣えでみんなが変わっていった。私達がいちいち指導したのではなく、宮里藍という選手を巧く利用させて貰っただけだと言っていました。女子ゴルフ界は「よい選手を育てる」ということ、新人教育にプロもアマも協会をあげて取り組んでいます。

宮里選手他プロにはもちろんエーjेंटがついていますが、協会のイベントにはとても協力的です。協会がエーjेंटに負けないスタンスと、イベントをマネジメントする力を持っています。

金丸 なるほどそうですか。そのところを、テニス界もがんばらなくてはならないですね。

因田 少し話はそれるのですが、女子プロゴルフ界では8月にプロテストがあり9月に「日本女子プロゴルフ選手権」があります。この公式大会を大阪の朝日放送が毎年全国ネットで放送しています。

この時期には毎年10人~20人の新人プロが誕生しているのに、30年程前の女子プロ協会は彼女達には目が行っていませんでした。当時プロデューサー兼務みたいなアナウンサーだった私は日本女子プロゴルフ協会会長に、未来の女子プロ界を背負う誕生ほやほやのプロテスト合格者上位3人位に、思い切って公式戦である9月の女子プロゴルフ選手権に出場権を与え、他の新人プロにはルーキーキャンプとしてイベントのお手伝いをさせることを提案しました。

結局トップ合格者1人だけが選手権へ出場出来ることになりました。その他の新人はイベントの手伝いをしながら一年目からゴルフイベントの仕組みを垣間見ることができました。放送の中でも紹介しました。「ルーキーキャンプ」は今も続いているようです。女子プロ協会は早い対応でした。その分の経費は我々の放映料にきっちり反映してこられましたかね(笑)。

金丸 アナウンサーの立場で、そこまで介入して行かれた理由は何ですか?

因田 いい商品(番組)を作りたいという思いからです。当時、女子ゴルフ界は男子(A・O・N健在)に比べてスターが少なく、視聴率が取れませんでした。被写体としての魅力に欠けているのに高い放映料を払わねばならず、「女子を育てる」という約束で取った放映権だったにも拘わらず、社の上層部から「女子は止めよう」の声が聞こえてくるので何とか良い商品にと頑張りました。今女子

は花開いています。当時東京のキー局は女子ゴルフには全く見向きもしませんでした。ある時期この公式戦に東京キー局が色気を出してきました。協会の一部にも動揺がみえました。しかし協会トップの「ここまで育ててくれたのは朝日放送」の一言で沈静化しました。当然その後は放映料金のアップにつながりました。

金丸 これはまさに「テレビがスポーツを育てる」ということのすばらしい例ですね！

『こんな時こそイベントで日本の元気を海外に発信するのが、スポーツの力であり役割では』

金丸 こうして因田さんのお話を伺っていると、そのキャリアを通してスポーツというものの持つ力と可能性を信じていらっしゃるの伝わってきますね。

因田 先日の東日本大震災から、震災とスポーツについて考えていたのですが、スポーツの持つ力は凄いと改めて感じました。いろいろあってもスポーツは、震災とも素直に向き合っている気がします。あの選抜高校野球のすばらしい選手宣誓が多くの人の心に響いたのも、やはりスポーツの持つ何かが伝わるからでしょう。

私は今まで多くのスポーツ選手と出会ってきましたが、「超」がつく一流選手は、相手に対する思いやりと尊重の心、相手のつらさを理解する心を持っていると感じます。だから今回のような震災の折にも、目に見えないけれども人々を勇気付け元気付ける何かを持っていて、伝える事ができるのではないかなと思うんです。スポーツのイベントを自粛しようという動きが一部にありますが、関東と関西の温度差はあるとしてもスポーツの影響力は大きいですから、スポーツのイベントをやるのが「日本は大丈夫だよ！元気だよ！」というメッセージになります。「日本はもうアカンやろ…」と外国は見ている今、元気なところを発信していくことはとても大事だと思います。

金丸 そうですね！被災地から遠く離れた場所でさえ、観光の風評被害は深刻ですから。

因田 そうだ！有明の楽天オープンを、NHKに取り上げてもらったらどうですか？「こんな中でもテニストーナメントやってるよ！」と。取り上げてもらおうと映像は国内のみならず海外に流れ、それは日本にとっての強力な発信となります。テニスをニュースとして流して欲しいのではなく、日本が今元気になるようとしているこ

とをテニスイベントを通して外に向かって発信することが日本のスポーツの役割だと言え、おそらくNHKは受けてくれるのではないのでしょうか。そのNHKも東京、大阪ではなく仙台のNHKと話をするのが一番でしょう。仙台発の全国ネット。多分地元の民放もニュースとしても取り上げるでしょう。こういった戦略を立てていくことが協会の果たすべき役割ではないのでしょうか。スポーツの持つ影響力は大きいのですから！

金丸 メディアにおられた方からの貴重なアドバイス、参考にさせていただきます！

因田 それから、スポーツ基本法案が6月に国会で審議され、(※このインタビューから一カ月後の6月17日にスポーツ基本法案が可決成立しました。)

おそらく可決されるでしょう。期待を込めて見つめています。国会状況から予断を許しませんが、スポーツ省・スポーツ庁といった行政機関の設置から具体的な事業展開までは難しいでしょうが、いずれにせよ日本で始めてスポーツの権利が確立されることになる訳です。将来への明るい兆しと受け止めたいものです。今まで日本ではスポーツはまだ文化になっていなかったのですから。今後は少しずつでも変わっていくでしょう。これも先人の努力の成果ですね。

金丸 今日は様々な観点からのお話を伺い、とても勉強になりました。テニス界を盛り上げていく為に、そしてテニスを通してできることを考え実行していく上で、参考にさせて頂くことが満載です。本当にありがとうございました！

(あとがき)

因田さんはアナウンサーからプロデューサーを経てゴルフ場経営責任役員を歴任、今も協会役員をされているとのことでしたので、お目にかかってお話を伺うまでは、別ジャンルの方へのインタビューというイメージを持っていました。

ところが実際にお話を伺っているうちに、そのキャリアを通してずっと育ててこられたスポーツに対する熱い想いが伝わってきて、それはもう我々プロテニスコーチを凌ぐ勢い！これはまさに「スポーツ馬鹿魂」だと確信しました。

本気で思うなら、できる限りのことをする。そして次へ。スポーツ界に限らず、道は同じなのでしょう。テニス界ががんばれ！と、戦友からエールを頂いたような気持ちになったインタビューでした。

因田 宏紀(いんでん ひろき)

経 歴	1942年	樺太(サハリン)生まれ
	1965年 3月	中央大学法学部卒業
	// 4月	朝日放送(株)入社
	1965年～1985年	スポーツアナウンサーとして、 野球・ゴルフ・陸上他10数種目の実況放送担当
	1985年～1995年	スポーツ番組プロデューサー
	1995年～2000年	スポーツ局管理職(部長～局次長～局長)
	2000年～2010年	朝日放送グループ(株)ABCゴルフ倶楽部出向 総支配人・代表取締役社長

現在	ABCゴルフ倶楽部常任理事
	関西ゴルフ連盟委員
	兵庫県ゴルフ連盟理事・ジュニア委員長
	びわこ成蹊スポーツ大学諮問委員 社会福祉法人アリス・エリザベス・ホーム評議員

【選手紹介リレー】

ProPlayer
Interview
プロプレイヤー
インタビュー

「選手紹介」のコーナーでは、往年の選手から若手選手まで出来るだけ多くの選手の皆さんにインタビューさせて頂き、プロとしての志や垣間見える素顔の部分をご紹介していきたいと思います。第2回目のページを飾るのはJPTAプレーヤー会員でもあります「三橋 惇プロ」です。三橋プロは2008年JPTA主催の「コサナカップ・JPTA大阪国際オープンテニス2008」に見事優勝。直近の大会では先月開催された「2011 TTCかしわオープン」でも優勝を飾りました！将来の日本のスポーツ界を担う若手スポーツ選手の活動を表彰・応援する「ジレットフューチャーチャンピオン」プログラムの最優秀選手に選ばれるなど、まさに今後の日本プロテニス界を担う若手プロテニスプレーヤーです。



JPTA会員の皆様、こんにちは。

私はプロになった2007年からJPTAに登録しています、これまで選手活動をしていく中で多くのサポートや応援を頂いて、これまで頑張る事ができています。

多くの人の助け、サポートがあって一人が成長する事ができます。テニスは個人スポーツですが、相手や仲間がいなければプレイする事ができません。家族やコーチ、トレーナーのサポート、日本テニス協会や日本プロテニス協会という協会がなければ、今ある多くのジュニアや一般、国際大会は開催されていません、そしてスポンサーもないことでしょう。

“感謝”という言葉、感情をもう一度見つめて、お互い今日から再び頑張っていきましょう。

三橋 惇

三橋 惇 プロにうかがいました

Q 01

今までで一番 心に残っている試合はどれですか？

2009年の全日本選手権大会準決勝、添田戦です。自分の信じている可能性を出す事ができ、しかし自分の課題がものすごく見えた一戦でした。

Q 02

今までで一番、テニスでくやしい思いをしたのはいつですか？

2006年のフレンチオープンJr.ウィンブルドンJr.の本戦出場が可能だったにも関わらず、出場することができなかったこと。

Q 03

今現在、三橋プロにとって「テニス」とは？

人生の通過点、私を成長させてくれるライフアドベンチャー

Q 04

今、こだわっていること、マイブームは何ですか？

もちろんテニスの試合に勝つ事にこだわっています。テニス以外でのマイブームは、遠征グッズや、トラベルバッグ、電化製品(パソコンやオーディオ)のショッピング。リラックスできる環境作りや拠点作りです。



★三橋惇公式ブログ「SAMURAI」

三橋プロのブログも更新されています。のぞいてみてはいかがでしょうか。

NGT・JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT

全国大会を終えて

育成・普及事業部 部長 藤沼敏則



平成22年度 第12回NGTジュニアスカウトキャラバンおよび第1回JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U13・U15の全国大会が、北九州市後援のもと北九州市穴生ドームにて開催されました。

全国30数会場そして海外の予選会も含め、約230名のジュニア達が出場し熱戦が繰り広げられました。

今年で13回目を迎える今大会ですが、12回大会から「もっと子供たちに夢を持って帰ってもらえる大会にしたい」という思いで、多くのプレーヤーの方々に審査員としてご協力をいただいています。今年度は、田村伸也プロ・右近憲三プロ・藤井渉プロ・山本育史プロ・本村剛一プロ・岩淵聡プロ・茶園鉄也プロ・佐藤直子プロ・神尾米プロ・吉田友佳プロ・小畑沙織プロの12名のプロプレーヤーの方々が、審査員として参加してくださいました。

試合で負けたジュニア達には、本村プロと山本プロのクリニックを開催し、NGT参加のジュニア達は、各プロ選手と打ち合いをしたり、クリニックを受けたりと審査以外にもテニスを楽しんでもらう時間を作りました。特に前回から取り入れたエキジビションマッチでは、子どもたちが目を輝かせてテニスを観て、またプレーの素晴らしさに感動し、ミスに対しても声援を送るなどの姿が本当に印象的でした。

このような大会が開催できますのも、多くのスポンサー様や予選会を開催していただいている関係各位様のご協力の賜物と、ジュニア委員会一同心より大変感謝いたしております。

すでに平成23年度がスタートしましたが、まだまだ大きな大会にしていきたいと願っておりますので、予選会の開催等には、ぜひ皆様のご参加とご協力をお願い申し上げます。



2011年度 第14回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン 地区大会会場

【全国大会】 平成24年2月17日(金)・18日(土)・19日(日)

【地区選考会予定】 日程順

地区	日程	会場名
北信越	7/10(日)	スポーツドーム・エアーズ
近畿	8/4(木) 予備日8/5	ノアテニスアカデミー北千里
関東	8/5(金)	メガロス柏テニススクール
四国	8/7(日)	テニスアリーナガーデン福島
九州	8/12(金)	パークドーム熊本
東海	8/16(火)～19(木)	サマーキャンプ(つま恋)
関東	8/26(金)	メガロス神奈川テニススクール
北信越	8/27(土)	辰口運動公園
九州	9/23(金・祝)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
海外	10月上旬を予定	タイ(バンコク)
近畿	10/10(月・祝)	宝塚テニスクラブ
関東	10/29(土)	エストテニスクラブ八田
北海道	10/29(土)	宮の森スポーツ倶楽部 旭川校
北海道	10/30(日)	宮の森スポーツ倶楽部 宮の森校
北信越	11/3(木・祝)	グリーンインドアテニススクール
近畿	11/3(木・祝)	ラケットバルテニスクラブ
関東	11/3(木・祝)	成城ジュニアテニスアカデミー
近畿	11/6(日) 予備日13日	C's ラケットクラブ
東北	11/6(日)	ピスタ ヴェルデ 春日井
東北	11/19(土)	山形県総合運動公園テニスコート
関東	11/20(日) 予定	麗澤中学・高等学校
中国	11/23(水・祝) 予備日11/27(日)	広島広域公園
東海	11/27(日)	三島市市民体育館
沖縄	11/27(日)	那覇市かんぽレクセンター

2011年度 第2回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT (U13) 地区大会会場

地区	日程	会場
九州	6/4(土)・6/5(日) 予備日7/3(日)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
近畿	7/26(火) 男子予備日7/30・31	C's ラケットクラブ
近畿	7/28(木) 女子予備日7/30・31	C's ラケットクラブ
九州	8/12(金)	パークドーム熊本
東海	8/16(火)～19(金)	つま恋(サマーキャンプ)
東海	9/4(日)	ピスタヴェルデ春日井
関東	9/17(土)	大磯プリンスホテルテニスコート
近畿	9/23(金・祝)	高島市今津総合運動公園
沖縄	9/24(土)25(日)10/1(土)	うるま市具志川庭球場
北海道	10/15(土)	ライジングテニスクラブ
東北	11/19(土)・20(日)	山形県総合運動公園テニスコート
関東	11/20(日)23日(水・祝)	麗澤中学・高等学校
北信越	11/23(水・祝)	グリーンインドアテニススクール
中国	11/26(土)・27(日)	みよし運動公園

2011年度 第2回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT (U15) 地区大会会場

地区	日程	会場
九州	6/4(土)・6/5(日) 予備日7/3(日)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
近畿	7/27(水) 男子予備日7/30・31	C's ラケットクラブ
近畿	7/29(金) 女子予備日7/30・31	C's ラケットクラブ
九州	8/12(金)	パークドーム熊本
東海	8/16(火)～19(金)	つま恋(サマーキャンプ)
関東	9/17(土)	大磯プリンスホテルテニスコート
近畿	9/23(金・祝)	高島市今津総合運動公園
沖縄	9/24(土)25(日)10/1(土)	うるま市具志川庭球場
東海	10/2(日)	ピスタヴェルデ春日井
北海道	10/15(土)	ライジングテニスクラブ
東北	11/19(土)・20(日)	山形県総合運動公園テニスコート
関東	11/20(日)23日(水・祝)	麗澤中学・高等学校
北信越	11/23(水・祝)	グリーンインドアテニススクール
中国	11/26(土)・27(日)	みよし運動公園

平成23年度スケジュール(資格認定講習会・プロテスト)

	講習会 対象:プロテスト受験希望者(新規・再テスト受験対策)	8会場 申込締切	P1・P2 UPテスト講習会 対象:P3以上のJPTA会員(昇級テスト受験対策)	5会場 申込締切	プロテスト ※筆記、グリップ、アナリシス、打球、レッスンテスト	11会場 申込締切
5月	関東・東海 23(月)24(火) つま恋(静岡)	4/25 (月)	関東・東海 23(月) つま恋(静岡)	4/25 (月)	関西 2(月) みのたに(兵庫)	4/4 (月)
6月	関西 13(月)14(火) みのたに(兵庫)	5/9 (月)	関西 13(月) みのたに(兵庫)	5/9 (月)		
7月					東海 7(木)8(金)メガロス千種(名古屋) 関東 21(木)22(金)メガロス横浜(神奈川)	6/6(月) 6/20(月)
8月	東海 14(日)15(月)メガロス神奈川(神奈川) 関東 14(日)15(月)邦和スポーツ(名古屋)	7/11(月)				
9月	九州 12(月)13(火)北九州ウエスト(福岡)	8/8 (月)	九州 12(月) 北九州ウエスト(福岡)	8/8 (月)	関西 27(火)28(水) MTP登美丘(大阪)	8/22 (月)
10月	四国 17(月)18(火)アリーナガーデン(徳島)	9/12 (月)			東海 9(日)10(祝)ロングウッド長久手(名古屋) 北海道 28(金)29(土)宮の森 宮の沢校(札幌)	9/5(月) 9/26(月)
11月	関東・東海 7(月)8(火) つま恋(静岡)	10/10 (月)	関東・東海 7(月) つま恋(静岡)	10/10 (月)	関東 22(火)23(水)TOP氷川台(東京) 九州 27(日)28(月)北九州ウエスト(福岡)	10/24(月) 10/31(月)
12月					四国 4(日)5(月)アリーナガーデン(徳島)	11/7 (月)
1月	関西 30(月)31(火)アオノリゾート(兵庫)	12/19 (月)	関西 30(月) アオノリゾート(兵庫)	12/19 (月)	関東 19(木)20(金)Ken'sインドア千葉(千葉)	12/19 (月)
2月						
3月					関西 ※会場検討中	/ (月)

注1)開催準備の都合で、締切を過ぎてからのお申込みについては御遠慮いただく場合がございます。締切日必着にてお申込下さいませようお願い致します。同様に、コート面数の都合上で締切までにお申込みいただいても受講・受験できない場合がございます。予めご了承下さいませようお願い致します。

注2)原則として申込受付締切後のキャンセルは控えて頂きますが、止むを得ない事情によりキャンセルされる場合でも、開催日7日前を過ぎたキャンセルについては受講料のご返金はできませんので御注意ください。

新入会会員挨拶

※入会手續完了の新規会員様

氏名	資格	勤務先
石崎 勇太	プロフェッショナル2	横浜テニスカレッジ
ここにちは!横浜テニスカレッジの石崎と申します。 日本のテニス界がもっと盛り上がる様になる事を祈っています。そのために少しでも力になればと思っています。宜しくお願い致します。		
小林 健一郎	プロフェッショナル3	株式会社ツカダプランニング
今回、プロテスを受験することで、勉強することの大切さ、楽しさに気付くことができました。 また、プロになれたことで、大きな自信を手に入れることができました。これからも、研修会などに積極的に参加したり、アップテストにチャレンジすることで、自分のスキルをもっともっと高めていき、たくさんの方によるこんでもらえるような、そんなプロコーチを目指していきます。宜しくお願い致します。		
大重 暁	プロフェッショナル3	石神井ローンテニススクール テニスランド上尾
はじめまして!!今年から入会させていただいた大重です。 私は、テニスを通じて体を動かす楽しさを、そしてテニスはこんなに奥深いスポーツなんだ、と思ってもらえるレッスンをしていきます。 楽しさの中に厳しさをいれたレッスンをぜひ一緒に一緒にしたいと思います。 よろしくお願致します。		
萩森 裕紀	プロフェッショナル3	グランディールテニスクラブ
自分の技術を高めつつ、技術だけでなく人として目標とされるようなジュニア選手の育成を目指すとともに、クラブの発展に貢献したいと思っています。		
藤本 博己	インストラクター	有限会社 和歌山インドアテニスクラブ
来てくださったお客様が、少しでも満足して頂けるようなレッスンを心がけていきたいと思っています。		
登松 康男	プロフェッショナル3	クリスタルプランニング
この度、会員となりました登松(とまつ)康男です。テニスは高校生から始め、指導歴は約20年です。 日々、指導力向上とプロコーチとして意義を高めながら、多くの方々により良い指導ができるよう努めています。また、ご周知の通り、東日本大震災で甚大な被害がでています。復興に対し、テニスを通して何か出来るかを考え、会員として微力ながら貢献できればと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。		

氏名	資格	勤務先
河内谷 徹	プロフェッショナル2	横浜テニスカレッジ
テニス人口の増大、底辺拡大のため、初心・初級者に手厚く丁寧なレッスンを心がけていきます。自分のスキルアップのために今後も努力・勉強します。		
佐竹 君仁	プロフェッショナル3	横浜テニスカレッジ
テニスの楽しさを一人でも多くの人々に伝えられる様、今後も一人一人に丁寧に接していきたいと思っています。 同時にテニス界の発展に協力出来る様チャレンジし続けます!		
山本 規史	インストラクター	テニスクラブ大井ファミリー
今回は「認定インストラクター」との判定でしたが、さらに上を目指して、早速次回のテストに申し込みをしようと思います。皆様宜しくお願い致します。		
行徳 佑介	プロフェッショナル3	北九州ウエストサイドテニスクラブ
コーチ歴は浅いですが、元気いっぱいレッスンを心がけています。 多くの人にテニスの楽しさを伝えていきたいです。宜しくお願い致します。		
中村 正也	プロフェッショナル3	株式会社クリスタルプランニング ルバディテニス&ゴルフ
今年の7月に大阪堺市にオープンしました「ルバディテニス&ゴルフ」でテニス支配人をさせて頂いています。LED照明・冷暖房完備・カーペットコートでワンランク上のスクールを目指します。お客様がリラックスし、楽しんで頂ける空間を提供できるよう、勉強していきたいと思っています。宜しくお願い致します。		
石田 和也	インストラクター	ウイングローバルテニスアカデミー蒲郡
更なるスキルの向上、レッスンの質を高め、テニス界を盛り上げていきたいです。		
井上 義大	プロフェッショナル3	朝日スポーツクラブ[BIG-S姫路]
入会後の抱負と致しまして、地域のテニス発展と全国・世界へ、テニスを通して人とのコミュニケーションを図りたいと考えております。		
山田 正巳	インストラクター	ヤマダテニス企画
全国のコーチのレッスン向上の為、今以上に実用的な講習会、実地演習を行います。また、テニス人口を増やす為、子供から大人までテニスを始める企画を行います。		

プロテスト委員会 プロテスト(UPテスト)資格昇級者

- 日 時:5月2日(月)
■会場:みのたにグリーンスポーツホテル(兵庫)
■受験者数(新規含む):3名

会員番号	氏名	資格	勤務先
3624	田中 秀幸	P3	三重グリーンテニスクラブ
3652	山田 正巳	P3	ヤマダテニス企画

ITF Women's Circuit



JPTA 能登国際女子オープンテニス 2011

《 大会要項 》

■大会名称：JPTA 能登国際女子オープンテニス2011

■主催：公益社団法人日本プロテニス協会

■公認：国際テニス連盟(ITF)、財団法人日本テニス協会

■特別後援：能登町

■特別協力：北國新聞社

■協賛：Prince(グローブライド株)、大塚製薬株、ヨネックス株、ブリヂストンスポーツ株、(株)ゴーセン

■後援：石川県テニス協会、北信越テニス協会、テレビ金沢、北陸放送、金沢ケーブルテレビネット

■取材協力：スマッシュ、テニスクラシック、テニスマガジン

■協力：藤波運動公園、金沢市テニス協会、日本女子テニス連盟石川県支部、能登町テニス協会、石川県漁業協同組合

■日程

予選	
シングルス	2011年9月4日(日)～5日(月) 64名(ダイレクトイン56 ワイルドカード8)
ダブルス	2011年9月5日(月) 4組(ダイレクトイン3 ワイルドカード1)

■日程

本戦	
シングルス	2011年9月6日(火)～9月11日(日) 32名(ダイレクトイン20 予選より8 ワイルドカード4)
ダブルス	2011年9月6日(火)～10日(土) 16組(ダイレクトイン11 予選より2 ワイルドカード3)

※予選サインイン9月3日(土)午後4時から6時まで 会場：藤波運動公園

■賞金ブレイクダウン US\$ 25,000

	SINGLES		DOUBLES (PER TEAM)	
優勝	2,940	50	1,176	50
準優勝	1,666	34	686	34
ベスト4	1,078	24	392	24
ベスト8	686	14	196	14
ベスト16	490	8	98	1
ベスト32	294	1		

	SINGLES	
予選勝者		1
予選決勝	133	-
予選ベスト32	68	-

■ホテル：選手は、下記ホテルをご利用下さい。(各ホテルとも、能登空港、試合会場への無料シャトルバスあり。詳細は各宿泊ホテルにお問い合わせ下さい)。

※宿泊予約する際は、大会ホームページ(<http://jpta-tennis11.noto-tourism.com/hotel.html>)より御予約をお願いします。

①真脇ボーレボーレ 〒927-0563 石川県鳳珠郡能登真脇 19-110 TEL：0768-62-4700 FAX：0768-62-4702

和室・洋室(ともに浴室付) シングル8,500円、ツイン7,500円、トリプル6,500円/1人(税込 朝食付)より

②ラブロ恋路 〒927-0601 石川県鳳珠郡能登町恋路 3-18 TEL：0768-72-1234 FAX：0768-72-0270

和室 シングル5,250円、2～4人使用 4,200円/1人(税込 食事なし)より

洋室 シングル6,300円、ツイン5,250円、トリプル4,200円/1人(税込 食事なし)より

洋室(浴室付) シングル6,825円、ツイン6,300円、トリプル5,250円/1人(税込 食事なし)より

③国民宿舎能登うつつ荘 〒927-0565 石川県鳳珠郡能登町字羽根5字4番地 TEL：0768-62-2295 FAX：0768-62-2294

和室 シングル4,560円、ツイン・トリプル4,200円/1人(税込 食事なし)より

④国民宿舎能登やなぎだ荘 〒928-0331 石川県鳳珠郡能登町字柳田知部1 TEL：0768-76-1550 FAX：0768-76-1106

和室 シングル5,505円、ツイン・トリプル4,455円/1人(税込 食事なし)より

■サーフェス：砂入り人工芝 ■試合球：ブリヂストンXT-8

■試合方法：トーナメント方式(ベストオブ3 タイブレークセット)

■参加料：US\$40または4,000円(為替レートによります)

■ディレクター：樺木 聖

■会場：藤波運動公園 〒927-0441 石川県鳳珠郡能登町藤波 23-1-1

■運営・事務局：公益社団法人 日本プロテニス協会 事務局

TEL 03-5791-1965 FAX 03-5791-1966 E-Mail: 2011i@jpta.or.jp

○公共交通機関をご利用の場合

飛行機：羽田から能登(1時間)能登空港から各ホテルへ、また各ホテルから試合会場へのシャトルバスあり

空港から直接会場の場合は、ふるさとタクシー利用(約30分) 電車：金沢からは、能登空港へはバス利用

○お車をご利用の場合 金沢から会場まで高速を利用して約2時間

○参加申込締切：2011年8月18日(木) ITF Professional Tennis エントリーはすべてオンラインの手続きとなります。

○大会参加希望者は全員ITFのIPIN登録とオンライン登録(45ドル)を予選サインインまでに完了させて下さい。

詳しくは JTA ホームページ http://www.jta-tennis.or.jp/JTA/information/registration/ipin_registration.html

又はITF ホームページ <http://www.itftennis.com/ipin/> をご参照下さい。

○本大会の要項の詳細は変更される場合がありますので、必ず事前にホームページ等でご確認ください。



ITF Women's Circuit



JPTA能登国際女子オープンテニス2011 情報

Information

“JPTA能登国際女子オープンテニス2011”が始動いたしました。

日本は今年3月、未曾有の震災に見舞われ、今も尚大変な状況にあります。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、1日も早い復旧復興を願うと共に、私達もスポーツを通じて少しでも何かができればと頑張っていくつもりです。そして“能登国際女子オープンテニス”からも、選手・コーチ・スタッフ・観客、全員の思いを一つにして、被災地の皆様に熱いエールを送りたいと思います。

昨年の2010年大会はタイのタマリネ タナスガン選手の優勝で幕を閉じました。タナスガン選手は、かつてウインブルドンでベスト8に入った素晴らしい選手です。ただ、ここ数年はケガに苦しみ、大会期間中も決して万全のコンディションとは言えず、毎日トレーナーズルームに通いながら一戦一戦を戦っていました。その復帰にける強い想いと努力は若手選手のお手本となることでしょう。また、その人柄も謙虚で礼儀正しく、オンとオフの切り替えが実に見事な、本物のプロフェッショナルな姿を見せてくれました。この能登国際女子オープンは、若手選手の登竜門と言われるトーナメントです。今年もどんなヒロインが誕生するのか？今から本当に楽しみです。若手選手たちには、素晴らしい先輩の背中を見て、選手として人として多くのファンから愛される本物のプロフェッショナルとなって羽ばたいてほしいと思います。

また、この大会は能登町あげての大イベントです。地元の皆様にも楽しんでいただけるよう、観戦の他プロテニスクリニック、ソフトテニスクリニック、お楽しみ大抽選会と昨年好評だったご当地グルメフェアなどのイベントも企画しています。そして今年は震災復興支援のイベントも企画しており、選手やコーチの皆さんにもご協力いただき、地元の皆様と共に被災地へエールを送りたいと思っています。この“JPTA能登国際女子オープンレディース”が能登の…石川の…北陸の…代表となるトーナメントになるよう、スタッフ全員が力を合わせ、選手の素晴らしいプレーと観客の皆様の熱い声援とで、能登の地から日本中に元気が送れるようなそんな大会にしたいと思っています。

トーナメントディレクター 榎木 聖



大会スケジュール

日程	試合開始時間	試合	イベント	イベント2
9/3(土)	16:00-18:00	サインイン	●復興支援チャリティーダブルストーナメント(9:30-) ●Let's Enjoy Tennis (13:00-)	
9/4(日)	9:30	シングルス 予選1回戦・準決勝		●やってみんかいね(終日)
9/5(月)	9:30	シングルス 予選決勝 ダブルス 予選決勝		●やってみんかいね(終日)
9/6(火)	9:30	シングルス 本戦1回戦 ダブルス 本戦1回戦		●やってみんかいね(終日)
9/7(水)	9:30	シングルス 本戦1回戦 ダブルス 本戦1回戦		●やってみんかいね(終日)
9/8(木)	9:30	シングルス 本戦2回戦 ダブルス 本戦準々決勝	●プロコーチレッスン会(13:00-14:30)	●やってみんかいね(終日)
9/9(金)	10:00	シングルス 本戦準々決勝 ダブルス 本戦準決勝	●プロコーチレッスン会(13:00-14:30)	●日本のご当地グルメフェア(10:00-試合終了まで) ●やってみんかいね(終日)
9/10(土)	11:00	シングルス 本戦準決勝 ダブルス 本戦決勝	●プロコーチレッスン会(13:00-14:30) ●ソフトテニスレッスン会(13:00-15:00) ●石川県ジュニア強化合宿	●日本のご当地グルメフェア(11:00-試合終了まで) ●やってみんかいね(終日)
9/11(日)	11:00	シングルス 決勝	●ソフトテニスレッスン会(8:30-11:00) ●石川県ジュニア強化合宿	●日本のご当地グルメフェア(11:00-試合終了まで) ●やってみんかいね(終日)

イベント詳細

復興支援

チャリティーダブルストーナメント

日 時：9月3日(土)
種 目：男子ダブルス 女子ダブルス
定 員：各 16 組 (申込人数により変更の場合あり)
参加費：1 組 4,000 円(当日払い)
試合方法：1 セットマッチ
トーナメント方式
申 込：事前申し込み
締 切：先着順 (定員になった時点で締め切らせていただきます)



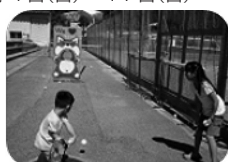
申込用紙は、
能登国際女子オープンテニス 2011
HPよりダウンロードできます。

*最終締切 8/28

復興支援

Let's Enjoy Tennis

日 時：9月3日(土)
① 13:00 ~ 13:30
② 14:00 ~ 14:30
③ 15:00 ~ 15:30
*各回 30 分
選手&コーチは当日発表
定 員：フリー
参加費：1 回 500 円(当日払い)
申込方法 当日受付



●やってみんかいね

毎年恒例のやってみんかいね!
今年も挑戦してみてください!
9月4日(日) ~ 11日(日)

■山本プロレッスン会

元デビスカップ日本代表、全日本選手権シングルス2連覇の戦績を持つ山本育史プロのレッスン会

9月8日(木) ~
9月10日(土)
13:00-14:30



■ソフトテニスレッスン会

昨年も大好評だったソフトテニスレッスン会!全日本学生大会優勝の戦績をもつプレーヤーの稲積京之介氏のレッスン会です!

9月10日(土)
13:00-15:00
9月11日(日)
8:30-11:00



■昨年大好評の

ご当地グルメフェア

9月9日(金) ~ 11日(日)
■ 岡山の山田牧場 肉の串焼き
■ 大阪の有鳥天 手羽先の唐揚げ
■ 明石の濱商 明石焼き
■ 能登の木村功商店 焼きがき



B級
グルメ

ITF Women's Circuit



JPTA能登国際女子オープンテニス 2011 《 予選出場選手募集! 》

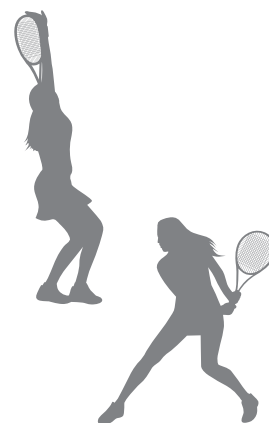
国内で行なわれるITF WOMEN'S CIRCUIT「JPTA能登国際女子オープンテニス2011」の予選を下記の通り行ないます。本大会には国内のトップ選手をはじめ、外国からも多数の選手が参加してきました。本戦32名・予選64名で行なわれます。今回その本戦出場を賭けたシングルの予選トーナメントを、下記の要項で開催いたします。WTAポイント取得し世界を目指しましょう。

- ◎日 時：2011年9月4日(日) 9:30～
 ◎会 場：藤波運動公園 〒927-0441 石川県鳳珠郡能登町字藤波 23-1-1
 TEL：0768-62-3884 FAX：0768-62-4445
 ◎種 目：女子シングルス <本戦出場最大8名(64名参加時)を選びます>
 ◎試合方法：ベストオブ3タイブレークセット
 ◎参 加 料：US\$40または4,000円(為替レートによります)
 ◎参加資格：ランキング上位64名(IPIN登録・オンライン登録済者)
 ◎大会構成： 能登国際女子 本戦 32名 US\$25000の大会です。

🏠 8名

能登国際女子 予選 64名

ランキング上位者より選考されます。
ここからは8名が本戦に上がります。



※JPTA能登国際女子予選・本戦に出場される選手の皆様へ

◎本戦・予選に出場する全ての選手は、事前にIPIN登録(無料)をしないと出場できません。右記サイトをよく読んでエントリー手続きを行なってください。メールアドレス(携帯は不可)が必要です。またエントリー、ウィズドロー等の大会手続きはインターネットでの「オンラインサービス」がメインとなります。IPIN登録自体は無料ですが、オンラインサービスの手数料として年間45ドルが必要となります。(要:クレジットカード)
 ◎大会参加希望者は全員ITFのIPIN登録とオンライン登録(45ドル)を予選サインインまでに完了させて下さい。

詳しくは JTAホームページ

http://www.jta-tennis.or.jp/JTA/information/registration/ipin_registration.html

又はITFホームページ

<http://www.itftennis.com/ipin/>

をご参照下さい。

※IPIN登録とオンライン登録を済ませていないと、予選サインインが出来ません。

◎JPTA能登国際女子オープンテニス2011予選サインイン

9月3日【土】 午後4時から午後6時まで 会場:藤波運動公園

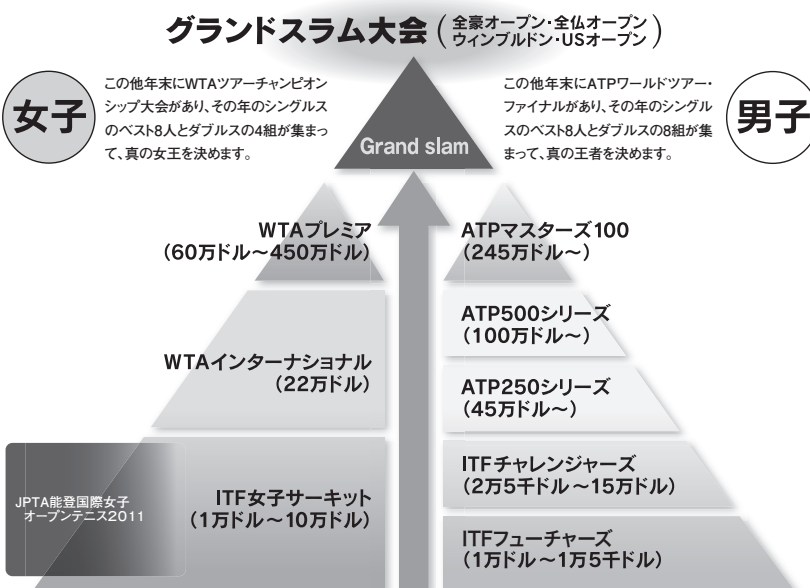
世界のテニスツアーと日本の国際大会

現在世界のテニス界はATPポイント(男子)、WTAポイント(女子)によって動いています。世界の若手選手は、このATP・WTAポイントを早くから獲得し、より大きな大会を目指します。

スペイン・フランスなどでは、毎週国内のどこかでポイントの取れる大会が準備されています。それに比べると日本はまだまだ充分ではありません。

日本選手が世界のトップで活躍する為に日本国内でもポイントを獲得できるよう、公益社団法人日本プロテニス協会は今年もJPTA能登国際女子オープンテニス2011を開催します。

皆で選手を応援し、日本のテニス界を盛り上げましょう!!



JPTA会員人物紹介



初めましてこんにちは！(株)ITCに勤務しております谷村俊樹と申します。今年の4月1日に神戸から、遠く離れた埼玉県、埼京線与野本町駅すぐのITC与野インドアテニスクラブに転勤となりました。初めての関東、1人暮らしはとても苦戦(洗濯機の使い方も分からない…)しました。東日本大震災直後の転勤だった事もあり、大変な毎日でした。阪神淡路大震災を経験している私は、震災の恐ろしさを今なお覚えています。大きな地震と共に、窓ガラスが全部割れ、部屋はまるで台風が通ったかのように悲惨でした。しばらくの間遠い親戚の家に泊まらせてもらい、数ヵ月後に神戸に戻ってきました。公園には仮設住宅が立ち並び、道路もボコボコになったままでしたがあれから16年…今では以前よりも綺麗な町並みになっています。

東日本大震災は阪神淡路大震災よりも規模が大きく、今なお現地の人々が苦しんでいる状況に置かれています。しかし、阪神大震災を経験した日本はあの時よりもみんなが丸となって復興支援をしています。当スクールでは毎日、お客様一人ずつのご受講毎に10円を日本赤十字に義援金として寄付しています。お客様が元気にテニスをされることが、被災地復興の手助けになるようにとの思いです。そんな中、私は、少しでも私達の元気が被災地の皆様に届けばいいなと思い、元気ハツラツで毎日を送っています。

こちらに転勤になる前、色々な事を神戸の皆様から聞きました。関東の人は冷たく感じるかも。冗談は通じないよ。などなど…ですがまったくもって勘違い。関東の人はとても温かいし(この間も歓迎会をして下さいました)、コートの中で洗濯の話や映画の話など色々な話をしたり笑ったり…。とても楽しい毎日です。違う点といえば『レッスン終了後にコート整備をしない』という事には驚きました。関西では毎レッスン後に当たり前のようにやっていたので…。

会員人物紹介は理事、地区長、幹事の皆様からの情報を基に、各地区で活躍している会員をピックアップし紹介します。

今回は私が、後輩の谷村会員を紹介させて頂きます。

若干22歳、入社3年目に自分から志願して居心地のいい地元神戸を離れ、初めての関東で奮闘しています。

20歳の誕生日が来るのを心待ちにして、JPTAプロテストにトライして合格するや、GOSEN「張り人」検定にも合格するなど、可愛い?外見を裏切るなかなかの頑張り屋です。

紹介人:金丸 由紀



谷村 俊樹会員

<プロフィール>

- 氏 名：谷村 俊樹
- 年 齢：22歳
- 血液型：O 型
- テニス歴：8年
- コーチ歴：5年
- ライセンス：日本プロテニス協会認定プロフェッショナル3
米国プロテニス協会認定プロフェッショナル3
GOSEN 張り人
ウィルソンアドバイザースタッフ
- 趣 味：映画鑑賞
- レッスンのモットー：笑顔の耐えない楽しいレッスンを心掛けています。
- 好きな言葉：その瞬間がある事こそ幸せである

関西・関東を通じて私が心掛けているのは、お客様やスタッフより親密な関係を築くことです。レッスンの休憩時間等はテニス以外の話をよくしますし、レッスン終了時、時間があればテラスで皆さんと談笑したり…。スタッフ間でも仕事の話だけでなく、テニスの話やプライベートの話もしてそして毎月1回は飲み会を開催しています。当クラブはコート2面とコンパクトながら、テラスからコートを望む風景はちょっとしたリゾートです。たとえ自分のレッスンじゃない日でも、友達のテニスを見に来たりお買い物の集合場所、はたまた、ただ時間があるからと私達スタッフと話しに来たり…。ITC与野インドアテニスクラブがそんな皆様の憩いの場となれるよう、そして私自身がクラブの顔として頑張れるよう奮闘中です。まだまだ新米で未熟な所が多々ありますが支配人はじめヘッドコーチ、スタッフや生徒様と一緒にテニス界を盛り上げていこうと思っています。

JPTAのイベントには積極的に参加したいと思っていますので、お会いできました折には、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いします。



地区便り [北信越地区]



今回は、ときに厳しくも豊かな自然に包まれ、海の幸・山の幸に恵まれた印象の北信越地区から便りが届きました。石川県能登町では第5回目となる「能登国際女子オープンテニス」開催に向けて準備中です。またニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン地区大会も新潟県、富山県、石川県で開催され元気な子供達の笑顔が溢れています。



北信越地区
地区長 安間 保行

地区長をお引き受けしてから、幹事を早急に決めましたが、その後なかなか思う様にことは進んでおりません。北信越地区は、新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県と地図的に福井県が一番南下に位置し、そして、会員の数が多いのは新潟県・長野県であります。会員同士の横のつながりに重点を置くようにしていきたいのですが思うようにいきません。早く会員同士の交流を深めて行きたいと思っています。また、地方の場合、会員が他県のテニス協会とつながりがあまり無いように思います。その所も緩和されるように、努力していきたいと思っています。私事ですが、本年4月から福井県テニス協会の会長となり、今まで以上にテニス協会の運営を良くしていきたいです。また、7年後の平成30年には2巡目の国体開催が決定しており、その準備も少しずつ進めなければなりません。そのような事情もあり、北信越地区の会員の結束を少しでも早く頑張ってもらえなければ、と思っています。今後とも、宜しくお願い致します。



平成23年度 8月～9月行事予定



8月

●プロテスト委員会・資格認定講習委員会…………… 【講習会】

8/14(日)、15(月)メガロス神奈川(神奈川県)
8/14(日)、15(月)那和スポーツランド(愛知県)

●ジュニア育成委員会…………… 【NGT地区大会】

8/4(木)ノアテニスアカデミー北千住(大阪府)
8/5(金)メガロス柏(千葉県)
8/7(日)テニスアリーナガーデン福島(徳島県)
8/12(金)パークドーム熊本(熊本県)
8/16(火)～19(金)サマーキャンプ(つま恋:静岡県)
8/26(金)メガロス神奈川(神奈川県)
8/27(土)辰口運動公園(石川県)

【トーナメント地区大会】

JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS
TOURNAMENT U13・U15
8/12(金)パークドーム熊本(熊本県)
8/16(火)～19(金)サマーキャンプ(つま恋:静岡県)

●用具・物品サービス…………… 【2011年度モデルウェア受注開始】

チラシ到着～(7/1～9/8まで)

9月

●プロテスト委員会・資格認定講習委員会…………… 【プロテスト】

9/27(火)、28(水)モリタテニススクール登美丘(大阪府)

【講習会】

9/12(月)、13(火)北九州ウエストサイドテニスクラブ(福岡県)

【P1・P2 UPテスト講習会】

9/12(月)北九州ウエストサイドテニスクラブ(福岡県)

●ジュニア育成委員会…………… 【NGT地区大会】

9/23(金・祝)北九州ウエストサイドテニスクラブ(福岡県)

【トーナメント地区大会】

JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS
TOURNAMENT U13
9/4(日)ピスタヴェルデ春日井(愛知県)
9/17(土)大磯プリンスホテルテニスコート(神奈川県)
9/23(金・祝)高島市今津総合運動公園(滋賀県)
9/24(土)25(日)10/1(土)うるま市具志川庭球場(沖縄県)
JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS
TOURNAMENT U15
9/17(土)大磯プリンスホテルテニスコート(神奈川県)
9/23(金・祝)高島市今津総合運動公園(滋賀県)
9/24(土)25(日)10/1(土)うるま市具志川庭球場(沖縄県)

●用具・物品サービス…………… 【2011年度モデルウェア受注締切】

(7/1～9/8まで)最終9/8FAX到着受付分まで

事務局 だより

おめでた

★ ご結婚 平成22年 10月 5日 入江 正和 会員 と 高田 三佳 さん
平成23年 6月 26日 生稲 年之 会員 と 村井 智恵子 さん

おくやみ

平成23年 2月15日 上野 晃裕 会員 実母 千枝子さま
平成23年 3月 3日 波多野 哲史 会員
平成23年 3月27日 笠松 裕司 会員 義母 鈴木 直美さま
平成23年 5月30日 佐瀬 昌士 会員 子 稀美ちゃん

★ ご出産 平成23年 1月22日 境 敬行 会員

咲良(さら)ちゃん

平成23年 2月 5日 松澤 正明 会員

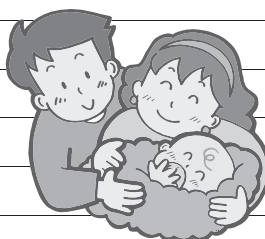
みや美(みやび)ちゃん

平成23年 3月29日 中川 正義 会員

侑一郎(ゆういちろう)ちゃん

平成23年 6月29日 堀川 圭輔 会員

權生(かい)ちゃん



新 事 務 局 長 ご 挨 拶

本年4月より、前任の山口さんから事務局長職を引き継ぎました、中田 博です。

私はこれまでテニス業界とは全く違う業界にいましたので、業界の固有な事情は時間をかけて勉強をさせていただきます。

一方、事務局業務はできる限り早く把握して、少しでも会員の皆様のサービス向上につながるように、改善を進めていきたいと考えております。是非色々なご意見を直接お寄せください。よろしくお願い致します。

なお、最近従来のメールアドレスに迷惑メールが急増し、皆様からのメールが埋没する事態があり、新たに会員の方のメールのみを受け付けるアドレスを新設しました。

ご意見、お問い合わせは下記のメールアドレスをご利用ください。

member@jpta.or.jp

ホームページ 会員専用ページ内 MIXI(ミクシィ) JPTA会員専用 コミュニティサイト 登録・申請について

MIXIは身近な友達は勿論、普段は会えない友達や知り合いともコミュニケーションをとることができます。日記を書いたり、共通の趣味や好きな話題のコミュニティに参加して仲間を増やす事も、意見交換もすることが出来ます。
(今回設けましたJPTA会員専用コミュニティは、JPTA会員同士のコミュニケーションツールとなりますのでJPTA会員のみの参加となります)

会員専用サイト JPTA Members Onlyより入り、 登録作業をしてください。(図参照)

MIXIに既に会員登録している方

- ① そのまま「入り口」から入る
- ② ログイン
- ③ 検索からJPTAと入力して検索
- ④ JPTA会員専用コミュニティ(会社・団体)が検索結果として表示
- ⑤ 「このコミュニティに参加」ボタンを押す
- ⑥ コメント欄に会員番号と氏名、コミュニティに参加希望と明記し、参加申請を送信
- ⑦ 協会事務局よりコミュニティの参加承認が返送

MIXIに会員登録をされていない方

- ① 協会事務局代表メールに(kyokai@jpta.or.jp)へMIXIのコミュニティ参加希望と会員番号と氏名を明記の上、送信。
- ② 協会より、MIXI会員登録の招待状が届く・・・その後はMIXI画面の説明に従い、登録をしてください。
- ③ 登録後は、左記「MIXIに既に会員登録している方」の①～同じ工程にてお進み下さい。

リニューアルしたホームページ内に設けました、MIXIにご登録をご希望の方は、下記の手順にてご申請下さい。(こちらの登録、活用は任意です)



すでにmixiの会員の方はそのままお入りください。
また会員でない方はこちらまでご連絡ください。
kyokai@jpta.or.jp



JPTAホームページ 会員専用サイト

..... 求人広告掲載受付中

ホームページの会員専用サイトに求人広告を掲載することができます。ご希望の方は下記項目をメールにてお送りください。

また、年2回の発行となりますJPTANEWSの人材募集コーナー(有料)も併せてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、JPTA事務局までご連絡ください。

求人広告掲載内容詳細

【求人広告掲載事項】

会員専用サイトに掲載される項目です。

- ・会社名(クラブ名)
- ・勤務地
- ・職種
- ・応募資格
- ・待遇
- ・問合せ先(担当者名含む)

【掲載期間】 1か月

掲載の延期または期間内の掲載取り下げの際はお申し出ください。掲載はご申請頂いた日から作業の都合上、3日～5日のお時間を要する場合がありますのでご了承願います。

【掲載料】 無料

(当面は無料で掲載となります)

◀ 原稿送信・問合せ先 ▶ 広報委員会 事務局担当：西山
e-mail: nakajyo@jpta.or.jp

メールの件名に「会員専用サイト求人掲載」とご入力ください。
尚、原稿はお送り頂く前に、ご一報を頂けると幸いです。宜しくお願い致します。

JPTA HOT NEWS 協会情報メール配信サービス

..... 登録受付中

出来るだけリアルタイムな情報を会員の皆様へお届けする、メール配信サービス(JPTA HOT NEWS)をご希望の方はJPTAのホームページの会員専用サイトより入り、メール配信サービス登録フォームからメールアドレスをご登録ください。メール配信の利用料は無料ですが、インターネットの利用に伴う通信料は自己負担となりますので、ご了承ください。(配信は不定期となります)

【送信者】

パソコンの場合 【公益社団法人 日本プロテニス協会】

携帯の場合 【jpta-haishin@jpta.or.jp】

携帯にjpta-haishin@jpta.or.jpを公益社団法人日本プロテニス協会という名前で登録して頂ければ、今後、送信者欄に「公益社団法人日本プロテニス協会」と表示されます。

【件名】

【 JPTA HOT NEWS 】と表示されます。

ご利用上の注意点につきましては、JPTAホームページの会員専用サイトにてご確認ください。

【問い合わせ】

広報委員会 事務局担当：西山

TEL : 03-5791-1965 FAX : 03-5791-1966

E-mail : jpta-haishin@jpta.or.jp

JPTA 公認企業・公認商品

会員は大いに利用し、生徒さん等関係者に薦めてください。

ラケット		プリンスラケット		グローブライド(株)
シューズ		プリンスシューズ		グローブライド(株)
ドリンク		ポカリスエット		大塚製薬(株)
ウェア		YONEX		ヨネックス(株)
ボール		JPTAオフィシャルテニスボール		ブリヂストンスポーツ(株)
ストリングス				(株)ゴーセン

JPTA 推薦企業

スポーツサーフェス(株) 大塚ターフテック(株) タムラクリエイト(株)

JPTA 賛助企業

JPTAは下記の企業の賛助を受けています。

あいおい損害保険(株)	(株)ナイキジャパン	日本プロテニスエンタープライズ(株)
(株)ゴールドウイン	(株)ビー・シー・シー	ミラクル(株)
(株)ダンロップスポーツ	(株)つま恋	
東京ウエルネス(株)	(有)リックスコミュニケーションズ	

編集後記

今年もまた暑い日が続きますが、「暑いなあ」とか言っても、季節が穏やかに移り変わることの有り難さを感じるこのごろです。理事の改選にともない新執行部が動き出しました。会員の皆様とともに協会を育んでいきたいものです。今号も盛りだくさんの内容となりましたが、いかがでしょうか。因田氏の記事を読んで、ウィングフィールド氏とまでは言わないけれど、そんな人が現れるといいですね。

檜垣泰章

新執行部で引き続き、JPTA NEWSの企画編集を担当することになりました。

たくさんの方の会員の皆様に楽しみして読んで頂けるよう、「面白くてためになる紙面づくり」を目指して一生懸命がんばります!今号から初めて、このコーナーを読んでくださっている方もいらっしゃるでしょう。ありがとうございます!ご意見をお寄せ頂き、次号に反映できたら嬉しいです。

金丸 由紀

編集委員として最後となりました。これからは、ひとりの会員として、協会の活動とともに、JPTA NEWSを応援していきたいと思っています。ありがとうございました。

篠崎 浩信

東日本大震災の爪痕がまだ消えぬ東北地方にも容赦なく訪れるであろう、この暑い夏ですが、被災地の皆様の健康と更に、少しでも快適な日常を送ることが出来ますよう祈るばかりです。7月号も多くの方に御協力を頂き完成することができました。「今号のプロプレーヤーインタビュー」はJPTAプレーヤー会員でもあります三橋プロです。皆様のお手元にあるJPTA NEWSは年2回発行の「2回目」です。今後もご意見、ご感想などをお待ちしております。

事務局N